

エスペラント



Verda Placo printempo 2011

みどりのひろば

2011年 春

N-ro 13

Harima Esperanto-Societo (はりまエスペラント会)



2011.3

Masato N.



エスペラント紹介講座の講師を体験して
(Post la printempa kurso en Egret Himeji)

CUKAMOTO Takesi



国際交流スプリングフェスティバルでは会員の方々にもご参加いただきありがとうございました。これはその時の講師体験記です。

Kiam s-ro Mine petis min gvidi enkondukan kurson, mi tuj akceptis ĝin preskaŭ senkonsidere al la amplekso.

Tiam mi simple pensis, ke mi povas utiligi la videofilmetojn kolektitajn por montri en la Zamenhofa Tago.

Sed baldaŭ klarigis, ke la afero ne estas tiel facila.

峰さんに「姫路のスプリングフェスティバルで講師をお願いします」と頼まれたとき、何の気なしに「はい」と答えていた。

ザメンホフ祭のためにユーチューブ(YouTube)の動画を集めたので、それを見ながらエスペラントの説明をすれば良いかと軽く考えていたのだ。もちろん、準備にどれくらいかかるか、何が必要かなど考えてもいなかった。

峰さんから知らせがあり、最初に実施予定計画書の提出が必要との事。

さあ何をしよう。Kion fari? Kion diri?

ビデオ画面を見るとエスペラントで歌ったり話したりしている。

そう、エスペラントは生きているんだと感じてもらおう。

そして自分でも使ってもらい、そんなに難しいものではないと思ってもらおう。

Amike al Esperanto.

よし、「エスペラントに親しもう」で行こう!

タイトルを付け概要を考えて一段落と思ったら、今度は「チラシ」が必要だとのこと。

モノクロ版とカラー版が必要らしい。

チラシ一つとっても簡単には行かないと分かってきたがもう断るには遅すぎる。

写真や動画から抜き出したシーンを並べてチラシにしよう。

ミコ(家の猫)、秋の国際交流フェスティバル、Bebo parolas en Esperanto、
Omaĝe al Zamenhof en esperanto、Kurso de Esperanto - Inicialoj DC、
La Espero、"Kiu lingvo por la homaro?"

ようやくチラシが出来上がり、いよいよ講座の内容を詰める番だ。

動画を見ながら、紹介用の説明に都合の良さそうなものを選んでいく。

そして2週間前。見てもらいたいものが多すぎて予定の時間に収まりそうに無い。
長すぎる、もっと短くて分かりやすいものを探そう！

Le devas esti io pli taŭga!

2日前、口頭説明の概要と表示する動画タイトルを並べて想定時間を書き、試行
して説明内容を再検討する。

説明補助用に例文の一覧を作ってみるが、大きな文字にして A4 1 ページに納め
るには例文も減らさなければいけない。

さて、いよいよスプリングフェスティバル当日。

雨が降るかも知れないと心配していたが幸い良い天気だ。

屋内での開催だし今回は人出もあまり見込めないので不安だったが割と盛況だ。

年配の方、特に女性の方が多い。ルーマニア語を勉強中の方もいらっしゃる。

娘婿がルーマニア人なんです、と単語表を作っていた。

外国語が身近な人も多いのだな、と気持ちを新たにす。

さあ、始めよう！ **Saluton!** それに **Ĝis!** を覚えて！

最初は少し出入りが多くざわつくもののなごやかな雰囲気進む。

Ho, Mia Kor' ザメンホフの詩に Neide の歌。

UEA viva の土井英一氏のエピソード。

午前の部の動画や説明は予定した時間通りに終わった。

そして午後の部。予定より量を減らす事にする。

La unuaj tri numeroj 小さな女の子が歌う。そして **Alfabeto** の練習。

もう3年も独学されている方もいらして、質問・応答も思いのほかスムーズだ。

皆さんが熱心に聞いてくださっている。

Esperanto course "Ana Pana". コンピュータの少女がなめらかに話す。

説明中に例文を減らしていたのを忘れて少し慌てる。

あっという間に時間が過ぎ、気がつくとう講習の終了時間だ。

皆さんありがとう、**Ĝis!**

私にとってこのような経験は初めてでしたが、皆さんの協力のおかげで何とか務
めることが出来ました。ありがとうございました。

Sensperta gvidanto, mi apenaŭ povis plenumi la taskon kun viaj kunlaboroj.

Mi kore dankas vin ĉiujn pro via afableco.



第7回国際交流スプリングフェスティバル

2月27日(日)、姫路国際交流センターで開催された「第7回国際交流スプリングフェスティバル」に参加しました。2007年からの連続参加で、5回目です。今年も、展示だけでなく、終日、1室を使用してのワークショップとして紹介講座を開催しました。これは、一昨年からで、同じ部屋でした。

今年も、塚本猛さんに講師をお願いしました。新聞社各社に案内を送りましたが、読売新聞(2月17日)が載せてくれました。もちろん、フェスティバルの主催者の姫路市国際交流協会作成して、市民に配布した報冊子にも、案内チラシが綴じ込まれました。

紹介講座の午前中の受講者は、始めての人が4、5人と2回目の人が1人、それに会員とその家族を含めて10人。午後は、帰った人もありましたが、新たに来た方もあって12人。いずれも途中で出入りした人があったので、もう2、3人は居られたように思います。2回目というのは、神戸の松浦四朗さんです。独協大学姫路校の大学院の社会人学生だった方で、現在は関西大学の大学院の博士課程で、たしか言語学を研究されている方です。その他の方も、どんなものか知りたい、前から学びかった、などとアンケートに答えていました。塚本さん、ありがとうございました。

展示の方は、昨年秋に大手前公園で開かれた国際交流フェスティバルのものを

流用しました。しかし、今年は、会場が手狭になり、展示コーナーに来る人が少なかったのは残念でした。

● 会員の参加者は、大前さん、坂本さん、多田さん、竹田さん、中村さん、中川さん、松田さん、山岸さんでした。(峰芳隆)



Perflugiloj de facila vento nun de loko flugu ĝi al loko! (1/3)

TADA Rjuĵi

De miaj infanaj jaroj mi ŝatas aeroplanon. Mi preferas flugmaŝinon al aeroplano. Ankoraŭ 3 aŭ 4-jara, mi loĝis en la naskiĝloko de mia patro pro la deviga evakuo. Tiam mi klare vidis, ke la malgranda hidroplano de usona armeo surakviĝis en la haveno. Poste kelka tempo, ĝi forflugis al vespera suno. Tiu spektaklo estis belega kaj mistera. Kaj mi fortike memorigis ĝin en mian carbon. Mi havis la deziron flugi kaj fari aeroplanon. La deziro kreskis pli kaj pli granda.



● Tiam, kiam mi estis 18-jara, mia patro forpasis.

Mi finis la tutan kurson de universitato per stipendio kaj kromlaboro. (private lernejo, Privata instruisto, Laboro de ornamento ktp) La deziro flugi kreskis pli kaj pli granda.

● Kiam mi estis en la dua jaro de universitato, la ŝanco venis al mi.

Mi rajdis sur biciklo al la lernejo. La aerodromo estis en la mezo de la irejo. Kutime mi vizitis la aerodromon, ke mi vidu alteriĝojn kaj deteriĝojn. La revo iam realiĝas. Unu tagon mi ricevis peton de iu piloto. Tio estis laboreto instali parolilon al aeroplano por propaganda. Mi ĝoje prenis la taskon sur min, ĉar mi povas tuŝi korpon de aeroplano. Mi finis la laboreton. La piloto diris al mi "Ĉu vi flugos per la aeroplano kun mi? Mi prenis aeroplanon kun ĝojo. Kaj ĝi estis la naskiĝo de nova epoko. Ni flugis super Tokuŝima por propaganda. Kiam ni estis sur la vojo de Tokuŝima al la aerodromo, mi havis la direktilojn. Mi pene direktis la aeroplanon, sed la aeroplano ignores min kaj flugis al alia direkto. La piloto diris. "Liberigu la manoj de la direktiloj." La aeroplano bonmaniere flugis pli antaŭen.

Mi spertis la facilecon kaj ĝojon de direktado. Kompreneble, mi ankoraŭ ne havis aŭtistan licencon. La ŝancoj kreskis. Mi decidis ekzerci direktadon de aeroplano.

Mia patrino kontraŭis forte. "Kiam oni komencos militon, tiam oni unue rekrutigos vin." Sed mia onklino forte aprobis mian ideon. Ŝi diris "Junulo necesas akiri sperton per praktiko." Ŝi konvinkis mian patrinon pri mia ideo.

De tiam jam mi kromlaboris, kromlaboris kaj kromlaboris ĉiutage.

Maljunuliĝis

SAKAMOTO Tosiaki

Estas printempo, moviĝas vigle ĉiuj, sed mia cerbo ne funkcias. Estas dormanta! Ne vekigis! Ĉu certe pro la aĝo de maljuno? Kaj mia edzino ordonis min, ke mi vizitu hospitalon neŭrologian.

Post kelkaj tagoj ni vizitis iun hospitalon en Takasago ĉe Amida. La kuracisto esploris min per demandoj kaj maŝinoj. Kaj fine anoncis al mi, ke ĉe vi jam iom komenciĝas la simptomo. Do vi devas uzi medikamentojn por retenigi la progreson de la malsano.

Pro tia kialo mia korpo estas plena de medikamentoj. Dank' al tio mi tenas min vigle nun, sed iam estis juna, mi tre malforta, maldika. Kiam mi estis junaĝa, mi ricevis dufoje operaciojn. Unu estis laparotomio kaj alia estis katetero de koro. Mia vivo estis batalado kontraŭ malsano kaj restonta vivo estu sana!

Pro mia sano mi ĉiu vespere promenas dum ĉirkaŭ unu horo. Pro tio aŭ ne mi lastatempe sufiĉe sentas bonkondiĉon.

Oni diras, ke la piedo estas dua koro. Mi kredas ĉi tion.

Sane kaj vigle ni vivu! Ho, certe mia cerbo estas freneza?

カサリヤのうた 第一章 誕生

'09.9.30

♩ = 1 ♪ or ♫

1. みはりの うみ に そのしまは あたし おお
 2. みはりの しま に そのヒリは うまいた ぎん

ジンの つか) か かんんて ぶりてとん おひ
 いのの つか) か かんんて ぶりてとん おひ

まの つか) て もりほ ゆに か おお
 かり あくらあさ かりあくらあさ

て ほつほの つか)はとりにの らん
 り うぶつて つか)はとりにの らん

あいらあいら あいらあいら あいらあいら

あいらあいら あいらあいら あいらあいら

エスペラント



Verda Placo somero 2011

みどりのひろば

2011年 夏

N-ro 14

Harima Esperanto-Societo (はりまエスペラント会)



ササユリ (高御位山にて)

エスペラントと平和の条件

相互理解と言語民主主義

寺島俊穂

Eseoj pri Paco kaj Esperanto

Interkompreniĝo kaj lingva demokratio

Terajima Toŝio



寺島俊穂 著 「エスペラントと平和の条件」の表紙
表紙の木版画は中村雅子さん作「託せてたもの」です

関西エスペラント大会に参加して

中村雅子

エスペラントを学び始めて4年、初めて大会というものに参加しました。開催地が神戸で行き易く、今大会の記念品として出版された本の表紙に拙作の版画を使ってもらったこと、そして分科会『エスペランチスト九条の会』で憲法九条の暗礁をすることが参加の動機でした。

峰先生から版画の依頼を受けた時は“素人だし、本の表紙なんてとんでもない”と思ったのですが、本のタイトルが『エスペラントと平和の条件』と聞いて、“そういう本ならやりたいなあ、うれしいことだなあ”と思い直して引き受けました。引き受けたからにはいいものを作りたいと去年のうちからコスモスの花をスケッチしたりして、年が明けてからいくつか構図を考えました。けれどなかなか納得ができず、しまいには夢にまで出てきて胃が痛くなる始末……。版画教室の岩田先生にも相談して、私の思いを象徴したシンプルな下絵にし、まずはホットひ

と安心。木版画はサクサクと彫っている時が一番楽しい気がします。画面には表れないし、木目に逆らうこともありますが、いつも彫るときはそこに吹いている風を意識しています。彫り上がって刷ったのが3月半ば、ちょうど東日本大震災・大津波と福島第一原発事故の直後だったので、余計に思い入れの強い作品になりました。ちなみに版画のタイトルは『託されたもの』です。こうして無事に寺島俊穂氏の著書の表紙を飾ることができて、本当にうれしいです。おそらく年末恒例。私のベスト10の第一位に間違いなしです。

分科会では憲法前文と九条の暗唱ということでしたが、私は九条だけ暗唱しました。前もって送ってもらった前文と九条のエスペラント訳を辞書やテキストを引きながら勉強しました。こんなに頑張ったのはこの4年間で初めてです。前文は言葉や文法がややこしくて、初心者の中には理解できない部分があったので、丸暗記はできないし、あきらめました。それから峰先生宅にお邪魔して、発音をチェックしてもらい、お手本を録音してもらって何度も聞いて練習しました。どうにか九条は暗唱できるようになり、本番でもつかえたものの最後まで暗唱することができました。「もう少しなめらかに言えたらいいね」と審査員の方に評されましたが、自分では満足です。それにしても、私より年上の方々があの長くて難しい前文を上手に暗唱されていて、すごいなあ！とびっくりしました。参加賞として前文（日本語）が書かれた、しぶい色合いの扇子をもらったので、この夏はこの扇子を持ち歩こう！、と心に決めました。

今回初めてエスペラントの大会に参加して皆さんがエスペラントで会話をして笑うべきところではちゃんと笑っていることに、この言葉は生きていて、実際に使われているんだと実感しました。講演ではエスペラントを始めて2年という若いベトナム人女性が、とても自然にエス語を話しながら母国の紹介をしていたのに感嘆しました。私にも所々、聞き取れる単語があり、もっと本気で時間をとって勉強したら、エス語で会話できるようになる、と確信しました。そしたら、どんな国の人とも思っていることを言い合えて、楽しい時間が過ごせるだろうなあ・・・と。

大会参加で大いに刺激を受け、秋に京都である合宿に参加してみようかと考えています。このやる気が持続することを願いつつ、報告を終わります。

馬場祝栄

関西エスペラント大会には毎年不在参加でしたが、今年は神戸での開催だったので、せめて一日だけでも参加したいと思い、第二日目の（6月19日）部に参加しました。友人やご近所にエスペラントを勉強しているというという、変な目で見られ寂しい思いをしておりましたが、この場はみながエスペランティスト、仲間がいっぱいです。

午前中は塚本さんの作文教室に参加しました。モバード7月号の作文教室の課題がテーマと聞いていたので予習をして臨みました。教室はテーブルの数、椅子の数、広さなどあたかも事前に参加数がわかっていたかのようにピッタリでした。参加者の年齢層はやはり60代が大半で、20代とおぼしき女性が一人参加していました。この女性は熱心さのあまりか、塚本さんに食って掛かるような態度で質問を浴びせ、なんと無礼な人かと感じましたが、塚本さんは丁寧に説明されていました。学習会は参加者全員が解答を書き、その解答について説明される形で進められ、わかり易く、質問も活発に出、その都度丁寧に説明されよく分かりました。ハリマからは久保田ご夫妻も参加されていました。

作文教室の後、何処へ行こうかなど思っているとばったり中村さんと会い、この後は中村さんと行動をともし、楽しく過ごすことができました。エスペラントのCDを求めたいと大会書店に行きましたが、エスペラントのCDは2種類しかなく、その2枚と野田淳子さんによる「金子みすずを歌う」を買いました。以前から金子みすずの詩集がほしいと思っていたのでラッキーでした。期待したエスペラントのCD2枚のうち1枚は冊子がなく、ヒアリングの苦手な私はガックリです。残る1枚のCDは「Kristnsaka kordo」と書いてあったので、これまた全然わからずガックリ。野田淳子さんのCDは毎日散歩に行くときウォークマンで聞いており、美しい歌声に癒されています。

Aŭkcio にすこし参加しました。田平正子さんの流暢なエスペラントに圧倒されました。なごやかな雰囲気ではありましたがチンプンカンカン、それにスピードも速く全然分かりません。中村さんと昼食にインド料理のレストランに入りましたが、お客さんは首に大会プラカードをぶら下げている人達ばかり、これまた仲間がいっぱい、と嬉しくなりました。

昼からは大会記念講演。どうしても眠くなってしまうので、防止のため前のほうに席を取ったのですが、やはり途中から居眠りをしてしまいました。ごめんなさい。

Mini koncerto シンガソングライター野田淳子さんです。ギター片手の着物姿にはびっくりしましたが、先ほど買ったCDも着物姿だったので、日本の伝統を大切に作る京女のスタイルなのでしょう。大好きな歌「大きな歌」が彼女のご主人の作と聞いて驚きました。続いての講演は **S-ino Nguyen Thi Phuong** です。ベトナムの首都ハノイのスライドを映しながらエスペラントの説明もわかり易く感じました。また、質問もどんどんあり、若い彼女には答えられない場面もありましたが、通訳の方がうまくホローされていました。スライドは急激に進む近代化の波や遅れている庶民の生活、道路には人、単車、自転車、車があふれており、日本では考えられない危険な道路事情など包み隠さず映し出されており、考えさせられました。この大会での講演「エスペラントと平和実現の道」の大切さを痛

感しました。世界がひとつに、平和になるにはどうしたら良いのでしょうか。ゆっくりと寺島俊穂先生の「エスペラントと平和の条件」を読んでみようと思っています。この本の表紙のほのぼのとした版画は中村さん作ですって！ 素敵！！

エスペラントの世界に接して楽しく、嬉しく感じると共に、こういう大会には参加すべきと実感させられた貴重な1日でした。

久保田俱視

昨年の奈良に続いて今回、神戸市で開催の「第59回関西エスペラント大会」に参加、興味深い2日間を愉しんだ。初日開会式後の講演「UK2012とベトナムのエスペラント運動」は通訳無しの1時間を映像と歯切れ良いFino Nguyen Thi Phuongのエスペラント語に集中した。彼女は22歳、社会人になって間もない、ESP歴2年とのことだが達者にまくし立てる様子に感心、来年のアジア大会を身近なものにしてくれた。

第2日の講演「エスペラントと平和実現への道」では、50分間にわたり、近代の世界史と、地球時代になお戦争を解決出来ない中、人類の友情・信頼・共感等、より根元的な平和への手だてとしてのザメンホフの平和主義の意義を学んだ。講師の寺島俊穂氏の論文集「エスペラントと平和の条件」が今回の大会記念品として出版配布され、中村雅子さんの版画の表紙を拝見できたのも嬉しい事でした。

前後しますが、塚本猛氏の作文教室では、“vivas sian vivon”の言葉を教えて貰いました。これからは、Kiel vi fartas? と聞かれたら、Dankon, Mi vivas sian vivon と応えようかなと思っています。Koran dankon!

塚本 猛

大会には6月18日土曜日から6月19日日曜日の2日間にわたって開催された。

私は1日目の午後から参加した。空は曇っていたが、幸い降ってはいなかった。その日は分科会と開会式に参加、明日の作文教室に使う部屋の下見をして帰宅。

2日目(6月19日日曜日)は朝一番の作文教室の後、昼食前まで参加した。雨は朝方にはほとんど降っておらず、昼頃にはあがっていた。

中村さんは、2日目の午前、9条の会で暗唱大会に参加とのことだったが、作文教室と重なっていて応援には行けなかった。久保田さんご夫妻と馬場さんは、作文教室に出席された。この時間帯には一般向け体験講座も開かれていて、先日その講師をされた藤本さんから、明石在住の受講者について連絡があった。

体験講座に出席した人が、その午後にはベトナムから来日した若い女性 Phuong さんにインタビューしたらしい。午後は帰宅したので見ていなかったが一度連絡をとってみたい。

大会の本屋には、絵本なども展示されていた。やはり書名の一覧表より、実物の本

のほうが購入意欲がわく。

姫路の皆さんが持ってらしたカラーの小冊子, "Poŝamiko" があったので購入。

他に, エスペラントの定型表現 (Esperanta frazeologio) を購入した。

大会の参加者は200名近くだが, 自分も含めて年配の人が多いのが目立つ。

開会式の前の分科会は, 「入門講座用の視聴覚教材研究」に参加した。この分科会の様子 (映像・音声) をリアルタイムにインターネットで公開していた。この分科会の出席者は部屋いっぱいになる位でかなり多かった。

紹介された視聴覚教材はかなりの力作であり, 労作でもある。ただ, やはり文字による説明なので, その分量に圧倒されてしまう感がある。

予定の半分くらいの時間で本題は終わり。その後の討議では Skype を使用して子供たちを外国の人たちと話させる例などが出た。

作文教室では, 計12名の方に回答を書いて頂いた。

課題はプリントして配布し, 回答を回収したが, 回答表示には峰さんのプロジェクターが活躍した。パソコンのテキスト編集画面をホワイトボードに映写して, キー入力したが, 1メートル強(1.2m?) のボードに横40文字では, 少し字が見えにくかったようだ。

訳文の説明時には, 的場 祐子(池田)さんから, 自分たちはエアコンを aeromatizilo と言っているがそれではいけないのか, との質問や, *prefere ol* しか見たことが無いが *prefere al* なのか, などの質問が出た。また, なぜ「以前」の訳に *iam* を使わないのかと言うような微妙な質問もあり, 熱心に学習されているのがよく分かった。

Per flugiloj de facila vento nun de loko flugu ĝi al loko(2/3)

TADA Rjuĵi

Mi faris flugoklubon en la universitato, kiam mi estis en la dua jaro. Mi kolektis kvar klubanojn. Tiu tempe, "Go Go"balo estis populara. Nia klubo aranĝis go-goan balon por akiri profiton. Kaj ni pagis la aliĝkotizon de Setouĉi flugoklubo en Setouĉi-kouku. Ni vendis multajn biletojn de la balo. La venditaj biletoj iris preskaŭ al Setouĉi-kouku.

Poste ni pagis la aliĝkotizon de flugoklubo. Ni kromlaboris, kromlaboris kaj kromlaboris. Kiam kolektiĝis sufiĉe da mono, ni faris flugekzercon. Antaŭ ĉio necesas mono, mono por la flugekzerco.

Instruistoj de la flugekzerco estis S-ro Tani, S-ro Fuĵiŭara kaj S-ro Akagi. S-ro Tani estas persono el "Jokaren". S-ro Fuĵiŭara estas ĝentileco kaj logikeco. Li invitis min al la flugo de Tokuŝima.

S-ro Akagi estas eksvendisto de aŭto. Ankaŭ li ŝatis aeroplanon.

Li akiris la flugan licencon. Li elspezis tutan monon por akiri ĝin, kaj tamen li

tenis tion en sekreto al lia edzino.

Poste li petis min, ke mi instruu lian filon. Sed, mi estis okupita. Mi prezentis al li mian posteulon de la flugoklubo. Mi rememoras S-ron Tani. Li koleris kontraŭ mi pro mia malbona manipulo. Mi konfuzis dekstran turniĝon kun maldekstra. Li diris, "Dum la milito, instruisto batis nin per klabo. Mi petis lian pardonon, dirante ke mi ne povas aŭdi bone.

En la sekvanta flugekzerco li faris transsendilon de parolo.

S-ro Fuĵiŭara invitis min al Tokuŝima. Mi sentis lin malfacile traktebla, ĉar li estis soleca kaj serioza viro. Aliflake, S-ro Akagi estis senekzempla kaj plezura. Li daŭrigis flugi longe pli ol la flugekzerca regulo. Mi havas multajn rememorojn pri li.

Mi ekzercis flugi super la enlanda maro Seto, kaj jen subite li kriis. "Eltrovas mi malamikan eskadron !"

Mi eke vidis tion. Tio estis Ukou-pramŝipo. (Ukourenrakusen)

Li kriis "Ek al la batalo" Li kondukis aeroplanon, kiel arba folio.

Mi eke kriis. "Batalu ! da, da, da, da". Tio amuzis min. En alia tempo gejunuloj kuŝiĝis agrable sur jakto. "Iru tien!" Li kriis. Li kondukis aeroplanon tuj proksime al la masto de la jakto.

Poste li estis revokita al la aviada oficejo. Oni avertis lin, ke li ne faru refoje tielan flugon.



<姫路 : 国際交流センター>

4月21日 : 大前, 小西成, 塚本, 中村, 中川, 山岸

5月19日 : 大前, 久保田, 塚本, 中村, 中川, 山岸

6月16日 : 大前, 小西成, 塚本, 中村, 中川, 山岸

4月から塚本が姫路、加古川の両方に出席して学習の手伝いをしている。姫路の、例会1時間前からの補充学習は4月で終了。要望により学習例会自体を30分早く始めている。

<加古川 : 加古川総合文化センター>

4月17日 : 久保田, 坂本, 塚本, 南場, 馬場, 峰

5月22日 : 久保田, 多田, 塚本, 馬場

6月26日 : 久保田, 坂本, 多田, 塚本, 南場

今後の例会予定 (2011年7月~2011年9月)**Kie, kiam ni kunvenos?**

★姫路 (午後1時30分~4時, 姫路国際交流センター)

7月21日(第3木曜日) 第4会議室

8月18日(第3木曜日) 第4会議室

9月15日(第3木曜日) セミナー室C

引き続き, "Hanako lernas Esperanton" を読んでいます。途中、適宜、単語や文法の復習を入れています。

皆さんの要望にしたがい開始時刻を30分早めました。峰さんが出席できない場合は、塚本が学習の手伝いをします。

★加古川 (午後2時~4時, 加古川総合文化センター)

7月17日(第3日曜日) サークル室2

8月21日(第3日曜日) 会議室3

9月18日(第3日曜日) 会議室3

引き続き, "Vojaĝo kun Katrina" を読んでいます。順調に半分くらいまで進みました。

編集後記 : 今号は関西エスペラント大会 (6月18・19日 於 : 神戸) 特集となりました。

15号の原稿は10月10日までにお願いします。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

"Verda Placo" (みどりのひろば) n-ro 14 2011年7月17日

発行 : はりまエスペラント会 代表 峰 芳隆 高砂市北浜北脇29-16

編集 : 南場 敏郎 加古川市平岡町城の宮13A・102 nanba.tosiro@w8.dion.ne.jp

エスペラント



Verda Placo

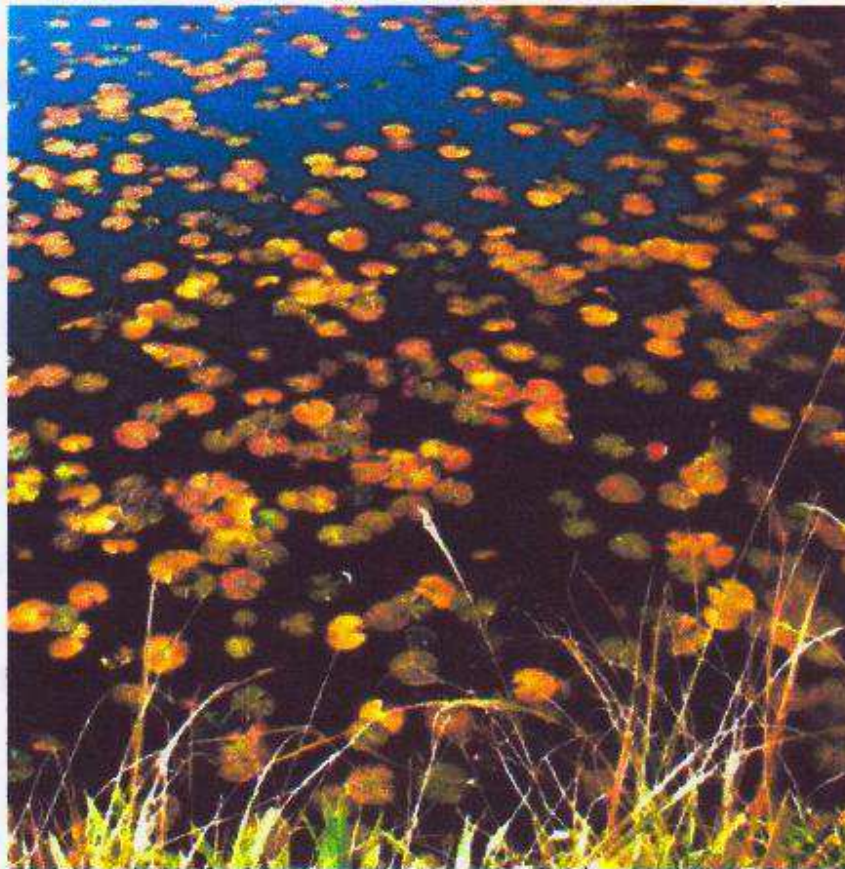
2011 aŭtuno

みどりのひろば

2011年 秋

N-ro 15

Harima Esperanto-Societo (はりまエスペラント会)



ヒツジグサ

mallargá mimfeo

Per flugiloj de facila vento nun de loko flugi ĝi al loko! (3/3)

TADA Rjufi

Kiam mi estis la kvara jaro de la universitato, mi ricevis inviton, ke mi eniru en la lernejon por helikoptera piloto de la japana MAFF. Kompreneble la aerkompanio pagas la elspezojn por lernado. Kaj plie mi povos ricevi tri milionojn da enoj unufojon komence kaj centmil enojn ĉiumonate.

Interŝanĝe, mi necesos labori en la aerkompanio pli ol tri jaroj. Mi bezonis tempon pripensi. Mi konsultis mian patrinon. Ŝi diris "Pensu mem pri via estonteco de nun."

Mi rekonstatis, ke la flugado estas mia hobbio. Mi estas multe interesita de biokemio. Biokemio interesas multajn industriojn. Mi ĝentile malakceptis la inviton por piloto.

En la kvara jaro de la universitato mi havis multajn aferojn por studoj kaj lernoj. Mi ekzercis min en stirado de aŭto por dungigo. Estas malofte, ke oni pilotas aeroplanon antaŭ ol stiri aŭton.

Nova jaro venis al mi. Mi ricevis inviton de mia profesoro, ke mi restu en la laboratorio de biokemio. Li diris: "Mi bezonas asistanton, kiu helpas min en eksperimentoj kaj esploroj." Li ricevis komision de USDA.

Du kapoj al mi mankas. La unua estas mia kapableco. La dua estas mia staturro. Mi ankaŭ bezonis salajron por mia patrino. Mi devis helpi mian patrino por ŝia vivo.

Mi dungiĝis en la kampanio en Kobe. En tiu tempo oni altigadis salajron ĉiujare. Mi povis sendi monon al la patrino. Mi ekzercis min en flugado, kiam mi ricevis kromsalajron. Mi ŝanĝis flugekzercejon al Jao-Aerodromo de Takamacu-Aerodromo.

Mi flugis kun amikoj super la ĉefa oficejo kaj tri fabrikoj. Ni filmis ilin per 8-milimetra filmo. Ni donacis nigra-blankan kaj sinkronigitan filmon al nia kompanio.

Nova flugekzercejo estas malproksima de nia loĝejo. Mi estis okupita de la laborado. Tiel la ekzerco de flugado fariĝis malofte. Precipe post la edziĝo pli. Mia edzino diris: "Bonvolu ĉesigi tian danĝeraĵon!"

Poste mi flugis kun mia filo kaj filino super Okajama tiam, kiam mia edzino vojaĝis. Kompreneble ni gardas la sekreton kontraŭ ŝi. La flugado ege amuzis ilin kaj ili longe memoras tion.

Se la memoro min ne trompas, la tri pilotoj forpasis dum la helikoptera flugo. Ili elflugis el la tero al la ĉielo.

<fino>

*MAFF; la Ministerio pri Agrikulturo de Forstado kaj Fiŝado (農林水産省)

*USDA; la Usona Departamento de Agrikulturo (米国農務省)



Tri argilaj rozoj

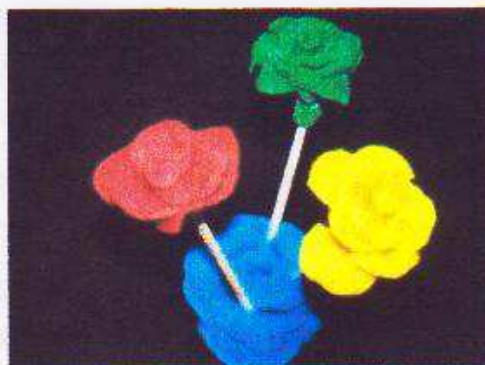
BABA Tokio

Mi ludis per argilaĵo kun Mijuki, kiu estas mia nepino. Ŝi havas 4 jarojn. Mi volis fari floron de rozo per argilo.

Unue, mi faris florfoliojn malgrandajn, variformajn unu post alia. Due mi kunigis tiujn kaj faris rozon. Kaj mi enpikis dentpurigilon al la rozo. Mi faris tri rozojn. Ili estas ruĝa, flava kaj blua. La rozoj estas malgrandaj kaj ĉarmaj. Mi estis tre kontenta.

Sed la rozoj estis fermitaj. Mi ne povis fari ekmalfermitajn rozojn, ĉar miaj fingroj estas tro grandaj. Mijuki vidis la rozojn, kaj ŝi murmuris: "Mi ekflorigos la rozojn" Ŝiaj etaj fingroj malfermis la florfoliojn. La rozoj bele ekfloris. Estas mirinde.

Mi faris malgrandan florpoton per argilo kaj enpikis la rozojn en la florpoton. Fariĝis bela ornamaĵo. Nun tiu estas sur la ŝranko en la familia ĉambro.



姫路「第16回国際交流フェスティバル」報告

峰 芳隆

10月23日(日)、姫路の大手前公園で開催され、はりまエスペラント会は、昨年に引き続いて出展しました。しかし、準備の中心になっていた塚本猛さんが入院されたため、代って私が知る範囲で、その概要を記録しておきます。

姫路国際交流センターは、春と秋の2回、国際交流フェスティバルを開催しています。春のスプリングフェスティバルは、同センター登録の国際交流団体によるもので、毎年2月の末にイーグレひめじの館内で開催されるもので、参加は無料です。

いっぽうの秋のフェスティバルは、市内の色々な企業やグループなどが、参加して大手前公園で開かれるもので、春よりも大規模です。従来は、登録国際交流団体の参加は無かったのですが、昨年は15回の記念で、「集まれ！ 姫路の国際交流」として、登録団体にも参加の呼びかけがあり、参加費は特別に無料でした。

今年も、昨年の実績を受けて、「集まれ！ 姫路の国際交流」の部門への誘いがありました。ただし、テント5,000円、パネル800円、机600円、机200円と有料。そこで、塚本さんに連絡して、例会などで皆さんと相談していただきました。その結果、参加することに決まり、準備の会議にも塚本さんに出席していただきました。

展示物は、昨年のもを、塚本さんに引き継ぎました。10月12日に、塚本さんに多田さんと一緒に拙宅へ来ていただきました。その日は、一緒に、イーグレにも行って、配布するチラシのコピーをしました。同センターには、登録団体が無料で使用できるリソグラフを備えた印刷室があり、チラシを作ることができるので、その利用方法を引き継ぎました。また、塚本さんから、直後に体験講座を開きましようという提案があり、その準備も進みました。塚本さんがイーグレの会議室を予約し、案内のチラシを作りました。私がマスコミの姫路支局や会員と元会員、これまでに連絡があった人などに、チラシを発送しました(このような自宅でする仕事は可能です)。

ところが、10月21日(金)に、塚本さんの奥さんの芳子さんから塚本さんが急病、という連絡がありました。そこで、あわててメールで連絡の取れる皆さんに連絡しました。塚本さんが準備した展示物とチラシは、23日の朝、芳子夫人が会場へ持って来られました(芳子夫人に感謝!)

私も妻の多鶴子と一緒に、9時に会場に着き、すでに集まっていた皆さんと一緒に会場設定をしました。馬場さんは、配布するための紙人形を作って持参されました。しかし、私は、その2日後の25日に次の治療が予定されていたので、大事をとって、会場設定だけで帰らせていただきました。当日、来られたのは、多田、久保田、馬場、南場、中村、曲田、中川の皆さんと岡山の原田英樹さんだとお聞きしています。

塚本さんが29日(土)夕と30日(日)朝の2回予定していた体験講座は、もちろん、中止し、すでにお知らせした皆さんにはメールやハガキで連絡しました。

なお、塚本さんは23日夜に緊急入院され、11月10日に退院されました。



国際交流フェスティバルに参加して

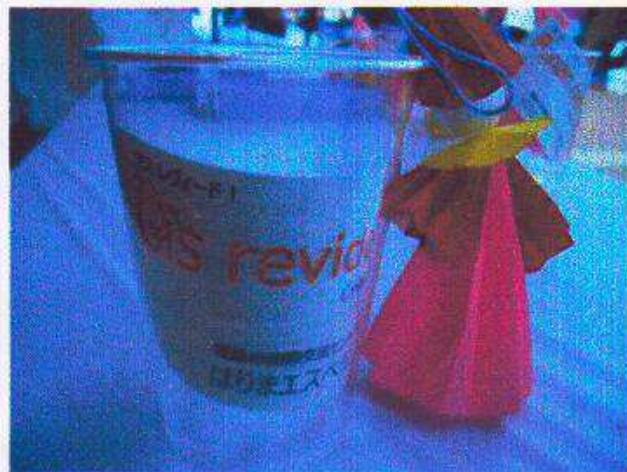
馬場祝栄

今回は、ベテランエスペランチストお二人がお休みでしたので、ちょっと不安でした。案の定、ある人にエスペラント語ではこんな時どう言うのかなど質問され、とっさになんて言ったらいいのか、言葉が出なくて、ドギマギする場面がありました。いつものことながら自分の勉強不足を感じました。塚本さんが作られた「エスペラントを知っていますか」「エスペラントではこう言います」などと書かれたメッセージカードを発音し、エスペラントについて私の知っている限りの知識を披露しました。

たとえば、エスペラントを日本に紹介したのは二葉亭四迷で、大正・昭和のはじめ頃は盛んだったこと、夏目漱石、高村光太郎もエスペラントを勉強してたこと、宮沢賢治の童話の中にはたくさんのエスペラントの単語が出ていること、最近では、テレビに爆笑問題で取り上げられたこと、ダーリンは外国人の漫画にも出ているなどなどです。たいがいの方は、「へえー、初めて知ったわ」という顔をされます。「エスペラントを知っていますか？」の質問には、ほとんどの人は「知らない」と答え、「そんな国はどこにあるの？」などと言われます。また年配の男の人でも「もうそんな言語は消滅したのかと思っていた」と言われた方が一人おられました。そんな時、展示されてがあればうれしいパネルを見せて説明しました。

スペイン、フランス、アメリカの人にも声をかけたところ、「自分は勉強したことはないが、知っている」と言われ、お連れの日本人の方に説明されていました。「若い人にテレビなどでもっと放送されたら良いのに」とも言われていました。

折り紙で人形を100個作りました。ですから、100人以上の人に呼びかけをしたこととなります。ひとりでも峰先生、塚本さんにお電話く思います。



お祭り好きの姫路

原田英樹 (岡山)

10月23日、日曜日の第16回姫路国際交流フェスティバル、12時頃に行きましたが、峰さんはお帰りだったのでお会いできなくて、残念でした。

大手前公園 (むしろ広場ですね) 一杯に、テントとステージが並び、大変な賑わい。お祭り好きの姫路だとあらためて思いました。岡山ではこんな人出は考えられません。

はりまエスペラント会もコンパクトながら良い感じのブースでした。雨模様になって、2時頃にお先に失礼しましたが、いくらかでもお手伝いができ、嬉しく思っています。

隣の日仏協会、ワインとケーキ。1杯飲みました。フランスの紹介もフランス語の説明もない、大らかなものですね。あれでいいです。

前のブースのコムサロン、こどもを集めて紙芝居。母親が付いていますから、上手な宣伝です。あのやり方をなんとかして取り入れましょう。

はりまのかたがたに再会して嬉しかったです。

(原田英樹さんは岡山エスペラント会会長。外科医で、現在は姫路医師会に勤務。はりまエスペラント会の活動には、以前から支援していただいています)

会員動向

吉田信子さんと竹田華恵さんが、残念なことに、9月に退会しました。

吉田 (旧姓・黒田) さんは、姫路エスペラント会の最初の頃の会員でしたが、はりまエスペラント会が生まれた機会に再加入していただきました。オオモトでの活動にもエスペラントを利用されていますので、会を離れても、協力や支援をしていただくように依頼しています。なお、吉田さんからは、会費の残金 5600 円を寄付していただ

きました。

竹田さんは、2006年秋、神戸新聞に掲載された記事を読まされたことがきっかけになって、入会されました。当初は、峰の自宅で学習。その後は、加古川と姫路の例会にも来られていました。多趣味で、昨年10月の姫路での国際交流フェスティバルには、知り合いの琉球三線奏者の来生享子さんと呼んで来て盛り上げるなど、我々を楽しませてくれました。

2011年度 神戸・はりま合同エスペラント祭 (ザメンホフ祭)

日時：2011年12月10日(土) 13:00から17:00

会場：神戸市青少年会館視聴覚室

(神戸市立勤労会館5階、三ノ宮駅南側から東へ5分)

会費：500円

会場準備：12:30～13:00

プログラム

1. “La Espero” 斉唱：全員
2. 開会挨拶：神戸エスペラント会代表
3. 自己紹介：参加者全員
4. 日韓共同開催エスペラント大会参加報告：藤田紘子さん他
5. お薦めの本などの紹介：複数の人(神戸・はりま)
6. コーヒー休憩(本などの販売、各種会費の取次)
7. 記念写真撮影：木村英二さん
8. 歌唱指導：沖恵明さん
9. 朗読：希望者(神戸・はりま)
10. エスペラントクイズ：赤田義久さん
11. 各種連絡
12. 閉会挨拶：はりまエスペラント会代表
13. “La Tagigo” 斉唱：全員 (その後全員で後片付け)

エスペラント祭終了後、神戸エスペラント会主催忘年会(中華料理食べ放題)

を開催します。はりまエスペラント会の皆さんも大歓迎です。

会費はアルコールを飲む人2500円、飲まない人1500円。

希望者は当日申し込んでください。

(神戸エスペラント会事務局 中道民広)

学習例会の記録

Kie, kiam, kiuj kune lernis?

<姫路：国際交流センター>

7月21日：大前，塚本，中村，中川，山岸

8月18日：大前，塚本，中村，中川，山岸

9月15日：大前，塚本，中村，山岸

10月20日：小西（成）、塚本、中川、山岸

学習例会は午後1時30分～4時。

テキストは Hanako lernas Esperanton だが、Zamenhof の詩

Pluvo の朗読練習も行っている。

<加古川：加古川総合文化センター>

7月17日：久保田，坂本，多田，塚本，南場，馬場

8月21日：久保田，坂本，多田，塚本，南場，馬場

9月18日：久保田，坂本，多田，塚本，南場，馬場

10月30日：久保田、坂本、多田、馬場、南場

テキストは Vojaĝo kun Katrina. LM の作文教室も参照。

ヨーロッパ共通参照枠(CEF)による自己評価の話など。

今後の例会予定 (2011年11月～2012年1月)

Kie, kiam ni kunvenos?

★姫路 (午後1時30分～4時, 姫路国際交流センター)

11月24日(第4木曜日) 第4会議室

12月15日(第3木曜日) 第4会議室

来年の例会の曜日については皆さんの都合を確認して、変更を検討します。

引き続き，“Hanako lernas Esperanton”を読んでいます。途中、適宜、単語や文法の復習を入れています。

★加古川 (午後2時～4時, 加古川総合文化センター)

11月20日(第4日曜日) 会議室3

12月はザメンホフ祭のため休会

1月？

引き続き，“Vojaĝo kun Katrina”を読んでいます。順調に半分くらいまで進みました。

★★

“Verda Placo” (みどりのひろば) n-ro 15 2011年11月20日

発行：はりまエスペラント会 代表 峰 芳隆 高砂市北浜北脇 29-16

編集：南場 敏郎 加古川市平岡町城の宮 13A-102 nanba.tosiro@w8.dion.ne.jp

エスペラント



Verda Placo

2012 vintro

みどりのひろば

2012年 冬

N-ro 16

Harima Esperanto-Societo (はりまエスペラント会)

Pacon kaj amikecon por la draka jaro!



Faro de mar-drakoj (*supokampo*) ligne farita de Tada Rjuji

神戸・はりま合同ザメンホフ祭に参加して

12月10日、神戸・はりま合同エスペラント祭（ザメンホフ祭）は三宮の神戸市青少年会館視聴覚室で開催された。写真のように、部屋の壁の“Zamenhofa Festo”の張り紙、ザメンホフの写真で雰囲気が出ている。はりまエス会の場合と違い発表会的な雰囲気が強かったが、神戸エス会のみなさんの準備のおかげで会合は滞りなく進み、合同ザメンホフ祭と一緒に楽しく過ごすことができた。

出席予定18名（内はりまからは、大前、塚本、中村、馬場の4名）だったが、会場の準備中に中村さんから芦屋までウクレレを取りに行くので遅れるとの連絡があり、また神戸のメンバーもそろっていないとのことで、開始予定を少し過ぎるまで待って開始された。最終的に出席者は17名。

会合は2名は小机、他が4角形に並べたテーブルの席に着き、**La Espero**の斉唱、自己紹介から始まった。エスペラントと日本語の両方だが、エスペラントだけの方も多し。自己紹介の途中で大前さん、中村さんも合流された。おすすめの本の紹介の後、はりまエス会で**Vizaĝon Supreno**の合唱、やはり練習不足は否めない。本番で初めて一緒に歌うのはちょっと無理だったかも。中村さんのウクレレ弾き語りの後、コーヒー休憩になった。注文していた本を受け取り、ゆっくりしてから記念撮影。日韓共同開催エスペラント大会参加報告の後にエスペラントの朗読があり、塚本は**Zamenhof**の詩から**Pluvo, Mia penso**を読んだ。中村さんは憲法9条のエスペラント訳暗唱。続いて沖さんの指導のもと皆で気持ち良くエスペラント訳の歌を歌った。エスペラントを題材にしたクイズに脳みそをしばり、**La Tagiĝo**を歌って閉会した。

（塚本 猛）



(英) 文 主 委



Arbo Blanka kaj Vitroperlo

皆さんは、2009年秋のn-ro7で紹介した、maro こと水上満里子さんの「トンボ玉」Vitroperlo のことを覚えていると思います。

昨年、9月はじめに、そのmaroさんから、新しい依頼がありました。友人の柏木さんに、名前の「柏木」にちなんだものを、エスペラントで付けて欲しいということでした。

「柏木」あるいは「カシワの木」は、エスペラントでは、**denta kverko**です。これは学名の**quercus dentata** (ラテン語) に由来するものと思われます。しかし、綴りの形も発音もあまり面白くありません。そこで、名前の「柏」を「木」と「白」に分解して、**Arbo Blanka**はどうでしょうかと、提案したところ、水上さんから、柏木さんに気に入っていただいた、とお礼の返事がありました。

それから、しばらくして、水上さんから、柏木さんこと**Arbo Blanka**さんを含むお仲間と「きら★きら★きらり展」を開くという案内が届きました(写真)。

会場は、イーグレひめじの近くの本町商店街にあるギャラリー「風の道・雨の匂・石の刻」。期間は、11月3日～6日。maroさんと仲間のlunoさんは、もちろんとんぼ玉**Vitroperlo**、そして**Arbo Blanka**さんは観賞用のミニ多肉植物の展示と販売だそうです。

私は、ちょうど、副作用が少し軽減したところで、国際交流センターに行く用事もあったので、妻の運転で出かけました。そして、水上さんにお会いして、柏木さんに、「名付け親の峰さん」と紹介していただきました。

ところで、maroさんlunoとさんの**Vitroperlo**は、現在、次のところで、委託販売されているそうです。

★JRひめじ別所駅前のかふえ&ぎやらりー「SA・RA」

★姫路城近くの雑貨屋「ろふう庵」

★大阪天神橋のブックカフェ「時色 (tokiiiro)」

★たつの市のカフェ「ガレリア アーツ&ティー」

(写真は「ガレリア」の説明カード)

(峰 芳隆)



とんぼ玉 Vitroperlo(ヴィトロペルロ)



一口に「とんぼ玉」と言っても、実にいろいろな技法があります。そんな中で、Vitroperloは精巧な模様やカタチを追求するのではなく、とんぼ玉そのものの『色』や偶然に混ざった『色』、出来た『カタチ』から受けるインスピレーションを大切にしながら制作を続けています。ときには、いびつなカタチさえも「このままだいい」と受け入れてしまう感覚で、すべてがいいかげんなわけではなく、「好き加減」を探しながらワイワイ・ギャーギャー、汗もかきながら作っています。

Vitroperlo(ヴィトロペルロ)▼maroとlunoの2人によって結成された制作ユニット。とんぼ玉を中心に作品づくりをしており、さまざまなアートイベントやフリーマーケットにも参加しています。ユニット名の由来はエスペラント語。直訳すると「ガラスの真珠」というこの言葉が、エスペラント語では「とんぼ玉」を意味します。ちなみに、「maro」と「luno」もそれぞれ「海」と「月」を意味するエスペラント語です。

GALLERIA ARTS & ATRA 1439 Tominaga Tabuno-cho Tabuno-shi 〒679-4167 Tel 0791-63-3555



maro

とんぼ玉
Vitroperlo
maro luno

ネイルアート
momo*hana



11.3(thu) - 4(sun)
2日間のみの参加になります
※ネイルアートサンプル
(ネイルアートサンプルの持ち帰り禁止です)

きら★きら★
きらり展

2011.11.3(thu) ▶ 6(sun)
am10:00 - pm6:00 (最終日はpm4:00まで)

光をあびて
きらりと輝く
とんぼ玉・ネイル・
多肉植物が
一緒になって
きらきらきらりとさらに輝きます

Succulent plant
ARBO
BLANKA



エスペラント紹介講座のお知らせ

塚本 猛

はりまエスペラント会では、姫路市の「第8回国際交流スプリングフェスティバル」に参加して、エスペラント関連の展示及び紹介講座を開催しますので、みなさんのご協力、ご参加をお願いします。

昨年と同様に、インターネットに公開された動画、音楽などを使ってエスペラントを紹介する予定ですが、昨年より時間の余裕がありますので、面白そうなアイデアがありましたらお知らせ下さい。

なお、エスカレータ付近でのパネル展示は「世界の平和メッセージ」をメインにして、配布用に紹介講座のチラシ、日本語訳付のエスペラント短文カードを置こうと考えています。

講座名：「エスペラントに親しもう！」

会場：姫路市国際交流センター 4階第3会議室

日時：2012年2月26日（日）

第1部 午前10時半～12時

第2部 午後1時半～3時半

定員：10名（第1部あるいは第2部のみの参加も可）

Saporo

南場敏郎

Sapporo(札幌では第99回日本エスペラント大会が解されます)ではなく、saporoです。エスペラント日本語辞典によると、風味、味わい、興味；味：とあります。そして、例文として *Estas kvar saporoj, nome sala, dolça, acida kaj amara.* とあります。しかし、塩味、甘味、酸味、苦味のどれとも違う第五の基本味として世界に認められている“うま味”がありません。うま味は昆布だしの味成分です。それがグルタミン酸であることを発見したのは

日本人です。グルタミン酸はタンパク質を作るアミノ酸の一種です。昆布やか
つお節などのうま味・グルタミン酸が様々な食材の持ち味を引き出し、料理の
味に調和をもたらしている第五の基本味なのです。

そこで、上記の例文を

Estas kvin saporoj, nome sala dolĉa acida, amara kaj umamia.
とするのはどうでしょうか。

ちなみに、英語表記では umami として認められているようです。

学習例会の記録

Kie, kiam, kiuj kune lernis?

<姫路：国際交流センター>

10月20日：小西(成), 塚本, 中川, 山岸

11月24日：大前, 塚本, 中村, 中川

12月15日：大前, 塚本, 中村, 中川, 山岸

学習例会は午後1時30分～4時。

テキストは Hanako lernas Esperanton だが, Zamenhof の詩
Pluvo の朗読練習も行っている。

<加古川：加古川総合文化センター>

10月30日：久保田, 坂本, 多田, 南場, 馬場

11月30日：坂本, 多田, 塚本, 南場, 馬場, 曲田, 峰

12月はザメンホフ祭のため休会

テキストは Vojaĝo kun Katrina. LM の作文教室も参照。

今後の例会予定 (2012年1月～2012年3月)

Kie, kiam ni kunvenos?

★姫路 (午後1時30分～4時, 姫路国際交流センター)

1月26日(第4木曜日) セミナー室D

2月23日(第4木曜日) 第4会議室

3月22日(第4木曜日) 第4会議室

引き続き, “Hanako lernas Esperanton”を読んでいます。

途中、適宜、単語や文法の復習を入れていきます。

1月から例会の曜日は第4木曜日に変更しましたが, 4月はイーグレひめじの催し物の都合で第3木曜日の予定です。

★加古川 (午後2時～4時, 加古川総合文化センター)

1月15日(第3日曜日) サークル室2

2月19日(第3日曜日) サークル室2

3月18日(第3日曜日) 会議室3

引き続き, “Vojaĝo kun Katrina”を読んでいます。

順調に半分くらいまで進みました。

編集後記

年末にPCが故障し、全ての記録を失ってしまいました。気分一新しようと新しいPCを購入しました。ところが、ワープロソフトがWord2000からWord2010に変わったため、操作に困惑してしまいました。10年ひと昔とありますがPCの世界の変化にはわかっていたのですが驚きです。古いプリンターのソフトも新しいPCは受け付けません。

余計なものがいっぱい入っていて、便利になっているのか、よくわかりません。

今号も多田さん、塚本さん、峰さんの協力で何とか8ページで作ることができました。次号には皆さんの多くの原稿を期待しています。

次号の原稿は4月10日までをお願いします。

★★

“Verda Placo” (みどりのひろば) n-ro 16

2012年1月15日

発行: はりまエスペラント会 代表 峰 芳隆

高砂市北浜北脇 29-16

編集: 南場 敏郎 加古川市平岡町城の宮 13A-102

nanba.tosiro@w8.dion.ne.jp

エスペラント



Verda Placo

2012 printempo

みどりのひろば

2012年 春

N-ro 17

Harima Esperanto-Societo (はりまエスペラント会)



加西市 古法華寺公園にて

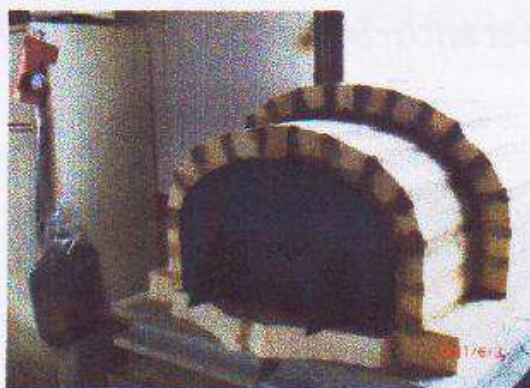
Mem faru ! (6) Ŝtona bakujo

TADA Rjuji

Mi faris ŝtonan bakujon en du semajnoj. Mi aĉetis la materialojn de la ŝtona bakujo de retbutiko. Ili estas fajrorezistaj brikoj, arka bakujo, mortero por kunigi kaj fajrorezista betono.

Ĉe la komenco de faro, mi ne havis scion de strukturo. La arka bakujo estis finita kun malfacileco. La dimensio de la bakujo estas 45 cm longa fronto kaj 70 cm longa interno.

Mi ne komprenis farmetodojn de ŝtona bakujo nek panon kaj pico. Pano elbakiĝas ĉe la temperaturo de 250~280 celsiaj gradoj. Pico elbakiĝas ĉe la temperaturo de 200~250 celsiaj gradoj.



Ĉu vi scias, ke ŝtona bakujo de pano diferencas de la pico? La ŝtona bakujo de pico ne havas pordon. La ŝtona bakujo de pano havas pordon. Ni ne povis atingi necesan temperaturon .

Jam pasis du horoj. Mi varmigas sufiĉe la bakujon per karbo. Por tio, mi uzis multe da karbo. Kaj mi uzis multajn horojn por varmiĝi.

Mi malmuntis elektran panrostilon. Mi uzis nur elektran hejtilon. Antaŭe uzu tion, poste uzu karbon. La bakujo varmigas pli rapide. Oni aĉetas elektran aŭ gasan bakujon.

Tamen, mi pagas multajn monojn kaj tempon nur pro tio, ke mi baku panon kaj picon. Mi volas ĝoji kune kun familioj kaj geamikoj.

Per ŝtona bakujo picojn, panojn, kukojn k.t.p. Ĉiuj manĝos kune.
Kompreneble, ĉiuj drinkos bieron, vieno kaj sakeo.

何でも自分でしよう！ (6) 石窯

ただ りゅうじ

私は2週間で石窯を作成した。石窯の材料はネットショップで購入した。耐火煉瓦、弓状窯、繋ぎに使うモルタルと耐火セメントだ。

作成開始時、私には構造の知識が無かった。弓状の窯を仕上げるのは難しかった。45センチ長前面で70センチ長内部である。

私には石窯の作成法もパンやピザの作成法も分からなかった。パンは摂氏 250~280度で焼き上がる。ピザは摂氏 200~250度で焼き上がる。

君はパンの石窯とピザのが違うのを知っているか？
ピザの石窯には扉が無い。パンの石窯には扉がある。必要な温度に到達することが出来なかった。

もう2時間過ぎた。私は炭で窯を十分に熱した。そのためにたくさんの炭を使った。そして熱するのにたくさんの時間を使った。

私は電気パン焼き器を解体した。私は電熱器だけを使った。先ずそれを使い、後で炭を使え。窯はより速く熱くなる。たいていは電気やガスの窯を買うものだ。

とは言っても、私はただパンとピザを焼きたいから(?)、
多大な金額と時間を掛けた。私は家族や友達と喜びたい。石窯を使ってピザやパンやケーキその他をみんなが一緒に食べる。

もちろん、みんなビールや、ワイン、酒を飲む。

鶏と百足と龍 (日本昔話から 沖縄地方)

坂本 敏明

その昔、南方の島々を渡り歩く龍が住んでいました。あちらこちらと島に上がっては大暴れ。海に出ては風を起こし、波を立て、大荒れの海で船人を苦しめます。人々はこの乱暴な龍の一族に、ほとんど困り果てていました。

ある日、大海で大暴れした龍が島に上がり、適当な洞窟を見つけ一休みです。なんとそこは百足の棲み処でした。百足は侵入者の耳に飛び込み、チクチク刺しまくりました。龍も弱いところを攻められてはたまりません。痛くて、痛くて転げまわります。その地響きたるや、それは、それは凄いものでした。地震と間違い、飛び出してきた鶏は、ヒイヒイ言っている龍の周りにたくさんの百足を見つけました。そして、ひょいと、一匹つまみました。美味しいこと、美味しいこと、次々出てくる百足を全部平らげてしまいました。それを見て、驚いたのは百足の攻撃にくたばっていた龍です。「これだけわしを苦しめていた怪物をいとも簡単に食べてしまうとは、なんとという恐ろしいやつだろう。わしは今まで自分が一番強いと思っていたのに、なんとということだ。」と言いました。

よく見ると、南方の島々も百足に見えてきます。「こんな恐ろしいところは懲り懲りだ。」と、島を逃げ出していきました。その一部始終を見ていた人々は、百足と鶏に感謝しました。それから人々は、琉球の船には、船の先に鶏、帆柱には百足の吹き流しをかかげ、龍の巻き起こす嵐除けを祈るようになりました。

Koko kaj Skolopendroj kaj Drako

SAKAMOTO Tosiaki

Antaŭ multaj jaroj vivis drako, kiu vagabondadis insulojn en Okinavo. Tiu drako suferigas loĝantojn per furiozado, voko de la vento aŭ grandaj ondoj. Tial la loĝantoj estis plene konfuzitaj ĉiam.

En iu tago la drako surterriĝis al unu insulo kaj eltrovis kavernon. Kaj li havis ripozon dum kelka tempo. Kia teruro! Tie estas loĝejo de skolopendroj. Multaj skolopendroj pikas la invadanton.(drakon) Truojn de nazo, orelojn kaj aliajn lokojn. La drako estis facile malvenkita kaj faliĝis sur la teron. Tiu bruoj kaj tremado de la tero estis grandega, kiel tertromo. La koko miskomprenis tion, kion tertremo okazis. Li ne estis kredebla. Sed tuj komprenis, kie ekzistas multaj skolopendroj. "Ho, bongustaĵo." Kaj la koko tramanĝis la tutan skolopendron. "Bongusta" "Bongusta". La drako diris vivante la cirkonstancojn. "Kia terurulo li estas." "Ĝis nun mi fieris pri mi mem, ke mi estas la plej forta en la mondo." "Ho, mi eksciis, ke pli superaj ekzistas ol mi."

La drako pririgardas sian ĉirkaŭon. Li vidas la insulojn kaj sentis tion kiel

skolopendroj. "Ho mi jam tute tedigis." La drako forkuris de la insuloj. La loĝantoj dankis al skolopendroj kaj koko. De tiam la loĝantoj de Okinavo malfermas kokojn kaj skolopendrojn de flagrubando kiel ekzerco.

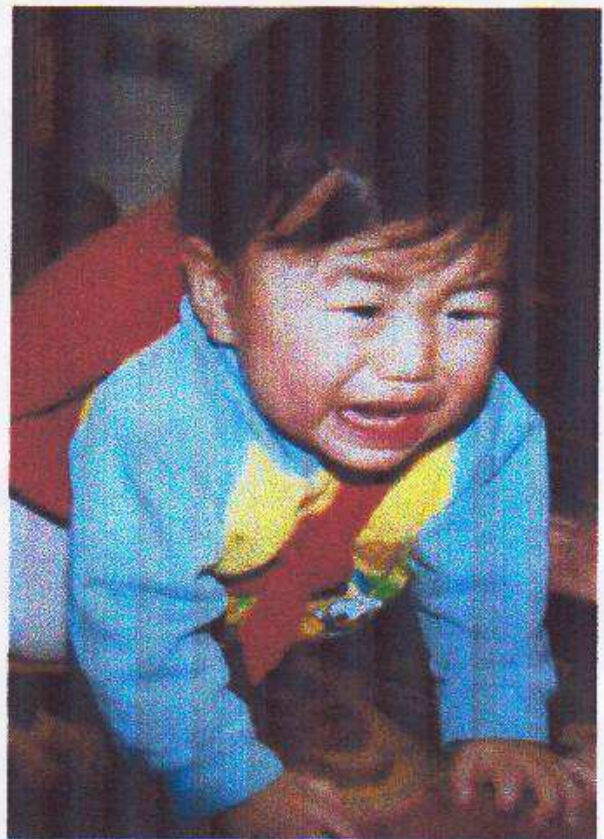
Fesro de nakiĝis tago de moĉio

BABA Tokie

Nobuyuki estis mia kvara nepo. Li naskiĝis en la 22a de januaro de 2011. Kiam bofilino estis greveda oka monatoj, mi havis telefonon. Ŝi antaŭ tempa akuŝos kaj ŝi tuj enhospitaliĝis. Ŝi restis en trankvireco. Ni okceptis pli maljuna nepio.

Tia aŭ ĉi tia, kiam li naskiĝis, nia ĝojo estis aparte. Ĉiu novan jaro lia familioj venis el mia domo por ni festis lian naskiĝas tagon de moĉio.

Ĉu vi konas feston de naskiĝa tagon de moĉio. Tio okazas ununaskiĝa tage. Bebo paŝas portante sur dorso 1.5Kga moĉion.



Antaŭe oni metas monuion, sorobanon kaj tuĉpenikon. La bebo paŝos al iu el tiuj objektoj. Se bebo paŝos al monoujon, li riĉiĝos. Se bebo paŝos sorobono, li fariĝos komercisto. Se bebo poŝos al tuĉpeniko, li fariĝos verkisto. Nobuyuki deiris el patrino. Li ankoraŭ ne paŝis. Li rampis portante sur dorso 1.5Kga moĉion. Li proras serĉinte sia patrino, rampis plorante al patrino. Sed tiu formo estas tre amida. Ni sidiĝis post metaj objektoj kaj diris malfermite brokojn "Vunu! Venu!" La ĉambro pleniĝis de voĉo kun lido.

Nobuyuki estis kompatinda, sed kiel printempa venis en ĉambro.

第8回国際交流スプリングフェスティバルに参加

今年も姫路のスプリングフェスティバルに参加して、エスペラント関連の展示及び紹介講座を開催しました。塚本が講師を務め、受講者は午前5名、午後10名で延べ11名でした。

参加者の内8名が会員で、岡山の原田さんほか、多田、馬場、大前、中川、中村、山岸、坂本の各氏が参加されました。

残念ながら新規受講者は1名（高槻の松尾さん）だけでした。でも、講習中に休憩をかねて、中村さんのウクレレ伴奏で「Vizaĝon Supren」を合唱するなど、会員の交流には役だったと思います。



『福島の写真展』と『平和のための音楽祭』

中村雅子

昨年の東日本大震災・東京電力福島第一原発事故以来、うつうつとした気分で過ごしていました。神戸や大阪では市民集会やデモが行われているのに、姫路では目立った動きがないことにがっかりしていたし、復興や絆という言葉に似合う事柄ばかりが取り上げられ、放射能の危険性をきちんと考えようとしめない世間の空気に、いらだちも感じていました。12月も半ばになって、今年、3月11日が日曜日だと気づき、多くの人の関心が再び向くであろうこの時期を逃がす手はない！と写真展開催を決意しました。

会場には納谷工房という若い人の出入りもあって、ホームページでも紹介してもらえる場所を選びました。年末までにはフォトジャーナリストの森住卓（もりずみたかし）さんから20点を借りられる目途がつき、ホッとひと安心。年が明けて本格的に動き始めました。やるからにはひとりでも多くの人に見てもらいたい、特に子供たちのいる母親や若い人たちに福島の実状や放射能の恐ろしさを知ってもらいたい、と宣伝活動に力を入れました。シネマクラブ・労音・ふじん新聞といった団体にチラシを配布するほか、友人・知人・お店などはもちろん、大学・専門学校も回りました。新聞社にも出向いて行って、結果、10・11両日に朝日・毎日・読売・神戸の4紙で紹介されました。また、パソコンを持たない私に代わって、スタッフや友人がインターネット上で宣伝してくれました。当日は会場ビル入り口で呼び込みを手伝ってくれる友人も現れて、2日で351人という本当にたくさんの人に来てもらうことができましたのです。

賛同金もカンパも多く寄せられ、被災地から遠く離れた姫路近辺でも、原発事故の被害者に心を寄せて何か力になりたいと思う方がこんなにも大勢いらっしゃるのかと、大変うれしく心強く思いました。本当にやった甲斐があったし、我ながらよく頑張ったと満足しています。なお、今回展示した写真からは、そこで暮らしていた人々や生き物へ対する森住さんの温かい愛情が感じられることとともに、原発事故に対する怒りが鋭く伝わってきました。絞りたての牛の乳を捨てる酪農家の姿やミイラ化した牛の死体、東電の説明に向かって怒りの声を上げる村民の顔など、どれも鮮明に脳裏に焼き付いています。自らも被爆覚悟でとられた

貴重な写真です。見損ねた方はぜひ写真集をご覧ください。

『福島第一原発 風下の村 森住卓写真集』 扶桑社 税込 1000円

3月25日(日)は加古川で、脱原発東はりまアクションの会主催の『平和のための音楽祭』に出演しました。「Saluton! Mia nomo まあの. Mi venis de Himeji.」とエスペラントであいさつしたら、客席の馬場さんと中川さんがニコリと笑うのが見えました。コンピューターに支配されている現代社会に主婦の目視で疑問を呈する『銀河 3.0』、放射能の影響で売れなくなった福島の桃に思いを寄せて作った『桃の涙』岩国米軍基地の隣町で育ったこととイラク戦争を結びつけてできた『つばさ』の3曲を歌いました。落ち着いて心こめて歌えたとし、お客さんも真剣に聴いて下さったのでよかったです。この日の様子は、

<http://www.ustream.tv/recorded/21346117> で見るができますそうです。

今後の予定はこれと言ってありませんが、原発事故の影響と福島の人たちの困難はこれからも続くわけだし、できる時にできることをやっていきたいのです。今回協力してくれた方々や知り合った方々との関係も大切にしていざとなったら力を合わせられたらいいなと思っています。エスペラントも平和への思いから生まれた言葉だし、おもしろいのもう少し時間を取って学びたい! と思っています。

はりまエスペラント会のホームページ

2月2日、はりまエスペラント会のホームページを公開しました。

ドメイン名は、[esperanto-harima.net](http://www.esperanto-harima.net) を新たに取得して使用しています。

<http://www.esperanto-harima.net/> でアクセス出来ます。皆様のご協力で、内容を充実させて行きたいと思っておりますので、ご意見などを直接塚本にお話し頂くか、c_tak@esperanto.ne.jp へメールのほどお願いします。



Esperanto

言語格差を公平に解消する国際共通語 エスペラント

トップページ プロフィール スタッフロール 活動報告 ご案内
donwdo nio.ni okazoj raporto informo



スケジュール



会のプロゲ

Bonvenon al nia hejmapaĝoj!
 はりまエスペラント会のホームページへようこそ！
 今年はエスペラントが発表されてから125周年にあたります。
 エスペラントは、国際的コミュニケーションのための補助言語として提唱された1897年から、既に1世紀以上はわたり、言語や文化の壁を越えて人々を結びつける働きを果たし続けています。
 はりまエスペラント会は、2007年1月以来、姫路市国際交流センターの登録団体として、「イーデンがめし」で学習活動と、遠隔を訪れる海外のエスペランティスト（エスペラント使用者）との交流などをしており、また、「岡山県立文化センター」においても同様の活動をしています。




リンク

はりまエスペラント会

〒671-0122
 高砂市北浜町北郷29-15
 <遠方郵便付>

お知らせ Aktuale



エスペラント講習会について
 2月26日にイーデンがめしにて体験講座「エスペラントに親しもう」を開催しました。
 ご出席ありがとうございました。

新着情報 Novajoj

はりまエスペラント会会計報告 (2010年)

2010年1月～12月

項目	収入	支出	残高	備考
会費	133,600			
例会参加費	13,100			
KLEG 会費		71,500		
Verda Placo		6,900		4回発行(プリント代)
会場費		10,265		姫路, 加古川
事務用品		4,827		封筒, 宛名ラベル ktp
通信費		22,746		LM, VP 発送 ktp
広報費		9,713		

その他		1,500		
計	146,700	125,951	20,749	
前年の繰越	74,141			
翌年へ繰越			94,890	

KLEG 会費：月額 250 円/人 (23 人×2 カ月, 24 人×10 カ月)

広報費：姫路国際交流フェスティバルの展示資料作成材料費,

紹介講座での配布用冊子・資料購入費, ktp その他：小西成子さんへの卒業記念品贈呈

(報告：峰芳隆)

はりまエスペラント会会計報告

(2011 年)

2011 年1月～12 月

項目	収入	支出	残高	備考
会費	91,200			
例会参加費	13,800			
寄付	5,600			吉田信子さん
ザメンホフ祭残金	1,100			
KLEG 会費		70,250		
Verda Placo		10,000		4回発行(プリント代)
会場費		20,678		姫路, 加古川
事務用品		1,093		封筒, 宛名ラベル ktp
通信費		25,570		LM, VP 発送 ktp
広報費		4,616		
出展料		6,000		
計	111,700	138,207	-26,507	
前年の繰越	94,890			
翌年へ繰越			68,383	

ザメンホフ祭残金：神戸との合同ザメンホフ祭の余剰金分配 KLEG 会費：月額 250 円/人

(24 人×9 カ月, 23 人×1 カ月, 22 人×2 カ月) 出展料：姫路国際交流フェスティバル (10 月)

学習例会の記録

Kie, kiam, kiuj kune lernis?

<姫路：国際交流センター>

1月26日：大前，久保田，塚本，中村，中川，馬場，山岸

2月23日：塚本，中村，中川，馬場

3月22日：大前，塚本，中村，中川

学習例会は午後1時30分～4時。

テキストは Hanako lernas Esperanton. LM の初級者・中級者の広場も参照。

<加古川：加古川総合文化センター>

1月15日：多田，塚本，南場，馬場，峰

2月19日：久保田，坂本，多田，塚本，馬場

3月18日：久保田，坂本，多田，塚本，馬場

テキストは Vojaĝo kun Katrina. LM の作文教室も参照。

今後の例会予定 (2012年4月～2012年6月)

Kie, kiam ni kunvenos?

★姫路 (午後1時30分～4時，姫路国際交流センター)

4月19日(第3木曜日) 第4会議室 6月28日(第4木曜日) 第4会議室

5月24日(第4木曜日) セミナー室C

引き続き，“Hanako lernas Esperanton”を読んでいます。復習用としてニューエクスプレス エスペラント語を使おうと思っています。

★加古川 (午後2時～4時，加古川総合文化センター)

4月15日(第3日曜日) 会議室3

5月20日(第3日曜日) 会議室3

6月17日(第3日曜日) 会議室3

引き続き，“Vojaĝo kun Katrina”を読んでいます。

読み終わったら “Katrina malfruas”，シリーズ第3話を読み進める予定です

エスペラント



Verda Placo

2012 somero

みどりのひろば

2012年 夏

Nro 18



ウチョウラン

『二つの祖国の狭間に生きる』をよむ

みね よしたか

この本は、副題「長谷川テルの遺児暁子の半生」がしめすように、長谷川テルのふたりの遺児のひとり、長谷川暁子（あきこ）が、自分の半生をつづったものです。

長谷川テルは、日中戦争のさなか、中国人の劉仁（リウレン）と結婚して、中国へわたり、抗日の反戦活動に参加したことで知られているエスペランチストです。

夫婦には、長男・劉星（リウシン）と長女・劉暁蘭（リウシャオラン）のふたりのこどもがありました。しかし、夫婦は、暁蘭が1歳のときに、あい前後してなくなりました。のこされたふたりのこどもは、新中国において「革命烈士」の遺児として、大事にそだてられたそうです。しかし、兄と妹は、別々に。しかも、妹は、兄がいることをしらずに。

この本では、物心ついたころからの家族のいない生活、のちに父の親族たちにあい、そして兄と再会したことなどのおいたちが、たんたんとつづられています。文化大革命の狂騒のなかでひどい迫害をうけ、くるしく困難な生活をいきぬいたことも。

兄妹のことは、そののち、日本にしられることになりました。そして、1979年、エスペランチストをふくむ有志により日本へまねかれ、8月に神戸でひらかれた第66回日本エスペラント大会にも出席しました。その大会の開会式の司会は、わたしが担当しましたが、そこでふたりを紹介したことをおぼえています。ふたりは、エスペランチストではありませんでしたが、日中友好に貢献したエスペランチスト・長谷川テルの遺児として、歓迎されました。

その後もいろんなことがあり、劉星は病死。暁蘭は、日本の大学に留学し、日本国籍を取得。現在は、長谷川暁子として、関西のいくつかの大学で中国語の講師をしているそうです。

この本には、劉星が中国の民主化運動に参加して、天安門で学生や市民にまじってすわりこみをしたこともなにもしてされています。また、暁蘭も、専制的なものや強権的なものへ反抗、そして民主的で自由に発言できる社会へのつよい願望を述べています。テルのことを知らずに成長したふたりが、母親とおなじようなかんがえをもち、行動するようになったことにも、こころがうごかされました。

わたしは、この本を、3月はじめ、入院中の病室でよみました。そして、30年以上もまえの神戸の大会では、かれらの内面の葛藤にきづかず、そのことにおもいをめぐらさなかったを、はじました。

※この文では、漢字の使用は、音よみにかぎり、訓よみの漢字をかながきしてみました。しかし、一部の漢字（兄、妹、父、母親、など）は、かな書きすると、読み難くなるので、漢字に戻しました。



これは、分ち書きをすればよいのですが。なお、これは、最近よんだ、ましこ・ひでのり編著『ことば／権力／差別 言語権からみた情報弱者の解放 [新装版]』（三元社）の第6章「漢字という障害」（あべ・やすし）に、触発されたためです。もともと、梅棹忠夫は、すでに同様のことを実行していました。なお、同書の第5章「言語権から計画言語へ」（かどや・ひでのり）ではエスペラントが論じられています。また、10人の執筆者のなかのすくなくとも4人（ましこ・ひでのり、かどや・ひでのり、木村護郎クリストフ、糸魚川美樹）はエスペランチストです。 (2012年8月8日)

Vojaĝo en Goto insularo

TADA Ryuji

De la 14a ĝis la 16a de februaro mi vojaĝis. Mi petis provon veturi de la kampanjo de Micubiŝi Motoroj novembro en la lasta jaro. Oni donis al mi rajton veture vojaĝi en Goto insularo. Kaj mi povas kunpreni du homojn al tie. Tiam mia edzino estis okupita.

Mi decidis iri kun amiko. Ni ekflugis je la 10:10 el Itami aerhaveno. Ni alvenis akurate je la 11:30 al Nagasaki aerhaveno. Ni veturis al Fukue insulo en Goto insularo per apogflugila ŝipo. Ni veturis dum 90 minutoj kun la rapideco de 80 kilometroj por horo.

Fukue insulo situas 90Km for de la haveno de Nagasaki. Areo de Fukue insulo estas 326.34Km² kaj la loĝantoj estas 40,322 (2005).

Unue, post alveno, ni ricevis instrukcion pri la elektromobilo. Kaj tuj, ni iris aĉeti memoraĵojn. Kompreneble, ni mem veturis kun elektra motoro.

En la vespero ni registriĝis en la hotelo "Campana Hotel". "Campana" signifas sonorilon en la hispana. La vojaĝada elspezo estas senpaga.

Ĝi estas elspezoj por vojaĝado, loĝado, lupreno de la elektromobilo

kaj matenmanĝo. En la dua tago, ni ludis golfon. Kiam ni appena ŝ komencis ludigolfon, ekpluvis. La pluvo daŭrigis dum la golfa lundo. Sed ni decidis daŭrigi golfon. Ni prenis la faman Goto nudelon por tagmanĝado.

Ĝi varmigis nin (Attamatta~~~~)

Poste ni informiĝis pri la direktanto de golfejo, ke nur du personoj ludis golfon

ĉiutage. Neniu krom ni ludis golfon. Estas la sola golfejo

en Goto insularo. Ĝi situas sur la montflanko de Onigatake. Kiam ni finis ludi golfon, la suno ekbrilis malmulte. Tiu ĉi golfo estis memorinda.

Post ludi en golfo, mi pakis miajn memordonacojn en la golfsakon. Kaj mi deponis en la kurieron "Kuroneko". La memordonacoj alvenis pli frue ol mi.

En resta tempo ni veturis per la luata aŭto al turismaj destinoj tra la insulo. Ni ŝargis la luatan aŭton dum duon-horo. La elspezo estis 200 enoj. La aŭto povas veturi je 120Km. En la tria tago, ni iris por turismo ĉirkaŭ la insulo. Ni iris al la loteriejo nur sur la insularo.

MI estas bonŝanca ĉi tie. Goto insularo, Urbo Goto, 15 februaro, je 4:55, luata aŭto NO.715, la loterio de 500 milionaj da enoj, mi aĉetis 55 foliojn.

Mi esperis naŭoblan fortunon per la naŭ ripetaj 5. Kaj mi sentis, ke mi gajnos la loterion.

Post ĉio, rezulte de la loterio mi gajnis la kvinan premion. Certe Goto (kvin insuloj) estas goto (kvina premio). Goto (5 insuloj) kaj goto (5a premio) sonas same en la japana.



Mia filino estas kuiristino

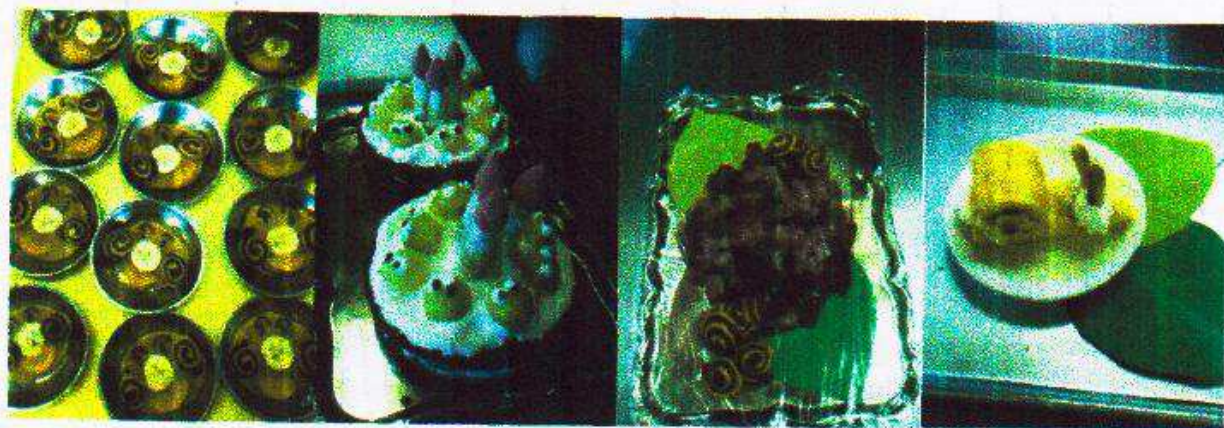
BABA Tokie

Ŝi laboras en Himeĵi Centra Infaneta Vartejo. Ŝiestas kuiristino. En la Vartejo oni vartas infanetojn de sesmonaata ĝis dujara. Ŝi penegas prepari mangojn, ĉar kelkaj infanetoj havas alergion. La alergion kaŭzas diversaj mangaĵoj.

Ekzemple ovo, faruno, sojfabo, skombro, k.t.p. Mi admiras ŝi faras elplene similaĵojn al ardinaraĵ mangaĵoj. Ŝi uzas rizan farunon anstataŭ tritikan. Anstataŭ kremajo de ovo dispremitan kukurbon. Sojo estas malbone uzi por alergiaj infanetoj de sojfabo. Tofuo estas same malbona. Mi pensas ĉam, ke ŝia laboro estas malfacila.

Ankaŭ ŝi elpensas kion infanetoj ĝoje mangas. Speciale penas kiam ŝi kuiras kukon. Ekzemple, kiam ŝi preparas patkukon, ŝi faras vizaĝon de "Anpanman" sur ĝi. Ŝi formas rulaĵan kukon kiel helikon. Ŝi mem estas ĝoja.

Antaŭ kekaj tagoj, estis bankedo de naskiĝotago de junio. Ŝi preparis ornamitan kukon. Ĉar nun estas junio, ŝi formis ranojn el melono. Kiel ŝi faris melonajn ranojn? Ŝi eltranĉis pecojn el melono ronde per kulero. Ŝi desegnis okulojn sur la rondaj pecoj, metis ilin sur la kuko. Kaj fine ŝi ornamis la kukon per centraj kandeloj el muldokartono. Kiam mi vidis ĉi tiun foton, mi ĝojkriis, ĉar ili estas tre aminda. Goĵaj vizaĝoj de infanetoj aperas en mia kapo.



関西エスぺラント大会に参加して

馬場 祝栄

今年は姫路の人達・中川さん、山岸さん、中村さんと一緒に参加しました。同じ電車に乗り合わせて、ちょっとした団体さんをしました。会場に着いたのは10時半で、覗いてみたい朝のプログラムは50分で終了、この時間で参加するのはあまりにも厚

かましいと思ひ、11時半終了予定の初心者向け講座に参加しました。これも、あの時間での参加は少々無理がありまして、残念ながら面白くなかったです。やはり無理をしてでも朝早い時間に来るべきでした。

次に、サロンのブックコーナーに行きました。ここではいろいろな本の品定めが楽しかったです。外国で出版された本は紙の質もよく、装丁もカラーで美しい。値段はべらぼうに高いのですが、日本とヨーロッパの文化の差を感じました。

昼からの講演はどんな理由かわからなかったのですが、30分も遅れて始まりました。私たちには時間ももったいなく、30分もあるのですから何かしてほしかったです。穴埋めできるスタッフの方はいらっしやらなかったのでしょうか。16時には帰りたいだったので閉会式に出席できなかったのが残念でした。

記念公演も興味ある内容でしたが、ブラックホールについてもっと詳しく話してほしかった。また、人間は宇宙から来たという突拍子もない説についてももっと詳しく話してほしかった、例えば、地球上の他の生命体はどうなったのか、といったことまで時間を割いて話してほしかったのに、さらっと流された感じで、消化不良みたいでした。

私自身関西エスペラント大会の参加は、今回で3回目ですが、回を重ねるごとに活気がなくなっているように思われ残念です。一番最初に参加した時は、私はまだ通信講座を受けていた時でしたが、神戸の外国大学で行われた時です。あの時の会場の熱気、活気に感動したことを思い出しました。

近況報告

El mia ĉiutaga vivo

みねよしたか

昨年春から、例会への欠席が続いて、心配をかけています。ご存知のように、2007年秋、前立腺がんと診断され、粒子線照射の治療を受けました。加えて、標準的な内分泌治療が続いていました。ところが、2011年春、「がんマーカー」の値が上昇に転じ、再発の診断を受け、主治医からは、抗がん剤による治療しか残っていないと宣告を受けました。これには、副作用のことを考えて、ためらいましたが、結局は医師の勧めに従いました。1回目は入院、2回目からは通院での治療です。当初は4週間毎。その後、次第に間隔を延ばして、最近では6週間毎です。副作用は恐れていたほどには激しくありませんが、それでも、投与から3週間前後は、相当にこたえます。とくに、白血球が壊されて免疫力が著しく低下しているのです。感染症への注意と生ものを食べないことなど、生活の制約を受けています。

そこで、KLEG事務局の仕事とLa Movado編集を辞め、KLEGの理事も辞めました。しかし、図書部には部員として残り、この6月に出た『簡明エスペラント辞典』と『エスペラント俳句の作り方』の制作を担当しました。いずれも、私が企画したも

ので、責任を果たすためです。また、自宅でできることとして、機関誌への執筆を続けています。しかし、機関誌の編集のように締め切りに追われる仕事は、副作用の激しい期間と重なることがあるので難しい。編集は、好きな仕事でしたが、一方では、執筆者とのやり取りや校正など、非常にストレスのある仕事です。それに、もともと、70歳までと、考えていましたので、ちょうど良い潮時でした。

ところで、副作用はいろいろな面に現れます。この3月には、上半身が激しい痛みに襲われ、9日間入院しました。検査では原因不明。医師からは、原因が判らないものは治療できないと、痛みを和らげるだけの対症療法だけ。さいわい、転移は見つからないということで、また、数値も安定したので、しばらく「休薬」ということになり、2か月間、治療から解放されました。上記の本作りは、ちょうどその期間でした。

しかし、その後、数値がまた上昇に転じたため、治療を再開することになりました。と、ということで、6月から、また「つらい」毎日です。最近では、副作用を和らげるための自己防衛として、野菜と魚が中心の食事に努め、また胃腸の働きを整えるための漢方薬を服用しています。そのような工夫で、この暑い夏をのり切ります。涼しくなって、体調が良いときには、例会などにも顔を出したいと思います。もちろん、毎日自宅に居りますので、皆さんの来訪を歓迎します。

(2012 agosto 12)

塚本さん、KLEG 委員を

今年4月から、塚本猛さんに、KLEG 委員になっていただきました。KLEG 委員は、関西エスペラント連盟 (KLEG) の加盟 Rond (rondo) から選出されて、連盟の委員会を構成しています (詳しいことは、7月に機関誌 *La Movado* 8月号と一緒に配布された *Jarlibro de KLEG 2012* 「2012年活動年鑑」の資料編をご覧ください)。

これまでは、事務所のある豊中が遠いこともあって、事務局員でもあった私が委員を務めていました。しかし、私が出席できる見込みがなくなったため、塚本さんをお願いして、快諾をいただきました。

また、KLEG 委員の上限は、Rond の会員数によって決まっていて、はりまエスペラント会からは3人の枠があります。そのため、私も今年1年は委員にとどまることにしました (*Jarlibro* p24 参照)。

なお、連盟費 (1人あたり月額 250 円) は、会費 (年 4,400 円) から支払っています。それに対して、KLEG からは月刊の共同機関誌 *La Movado* が会員に配布されています。*Jarlibro* や図書目録 *Librokatalogo* なども会員に配布されているものです。

(みねよしたか)

学習例会の記録

Kie, kiam, kiuj kune lemis?

<姫路：国際交流センター>

4月19日：塚本，中村，中川，山岸，峰

5月24日：大前，塚本，中村，中川，馬場，山岸

6月28日：大前，塚本，中村，中川，馬場，山岸，三鍋，中橋

7月26日：大前，久保田，塚本，中村，馬場，山岸，中橋

学習例会は午後1時30分～4時。

テキストは5月からエクスプレス エスペラント語。

<加古川：加古川総合文化センター>

4月15日：多田，塚本，南場，馬場，峰

5月20日：多田，塚本，南場，馬場

6月17日：久保田，坂本，多田，塚本，馬場

7月xx日：休会

テキストは *Vojaĝo kun Katrina*。LMの作文教室も参照。

今後の例会予定 (2012年8月～2012年10月)

Kie, kiam ni kunvenos?

★姫路 (午後1時30分～4時，姫路国際交流センター)

8月23日(第4木曜日) セミナー室C

9月27日(第4木曜日) 第4会議室

10月25日(第4木曜日) 第4会議室

エクスプレス エスペラント語を使っています。

★加古川 (午後2時～4時，加古川総合文化センター)

8月19日(第3日曜日) 会議室3

9月16日(第3日曜日) 会議室3

10月xx日 未定

引き続き，“*Vojaĝo kun Katrina*”を読んでいます。読み終えたら“*Katrina malfruas*”，シリーズ第3話を読み進める予定です。

編集後記：今号は一か月遅れの発行となりました。次号は予定通り10月に発行します。寄稿よろしくお願ひします。

★★

Verda Placo” (みどりのひろば) n-ro 18

2012年8月15日

発行：はりまエスペラント会 代表 峰 芳隆

高砂市北浜北脇 29-16

編集：南場敏郎 加古川市平岡町城の宮 13A-102

qqce7bm9k@pony.ocn.ne.jp

エスペラント



Verda Placo

2012 Aŭtuno

みどりのひろば

2012年 秋

N-ro 19

Harima Esperanto-Societo (はりまエスペラント会)



皇帝ダリア

Boato (1)

TADA Ryuji

Bofrato aĉetis la fiŝistan boaton en 1980. La boato haltis en Futami-fiŝista haveno. Nomo de boato estis "Nonkimaru"(Senĝena ŝipo). Post nelonge, mi kaj mia filo cedis al la tento por fiŝado. Tiam estis densa nebulo. Ni havis nenion de fiŝkaptadoj.

Poste ni ofte iris fiŝado pri la boato. Mi havas multaj epizodojn per boato kaj fiŝado.

En la 17a de aŭgusto 1983 mi ekhavis kvar gradan licencon de boato. De malnove mi bezonis havi licencon de boato. Kaj mia bofratokuraĝigis min preni la licencon. Mi sukcesis de direktada ŝipo en la praktika ekzameno. Sed la ŝnura tasko estis malbona.

La instruisto diris al mi "Pli lernu ligi ŝnuran taskon". Mi fariĝis ŝipestron fine.

Mi prezentu iam epizodon. Iam mi fiŝadis polpojn kun mia edzino. Ni fluigis ok kaptilojn respektive sur ambaŭ flankoj de boato. Ni rigardis movadojn de fadeno, kaj rapide pendigis kaptajojn. Mi konis ŝancojn de kaptado, ke infanece mi faris tiun travivaĵon. Tuj ni ekhavenigis, mia edzino estis marmalsano. Mi bedaŭris kompatinda al ŝi. Sed tiam ni estis okupita. Ni havis multajn aferojn por fari. Nerimarkite, antaŭ ŝi laboris kune. Ŝi ne povis havi kiel longe marmalsonan. Tiu nokte ni manĝis kuirajojn de polpo. Tre bongustita.

Alian epizodon. La sep membroj de nia kompanio veturis sur boato por fiŝado. La celo estis platesoj. Sed la plateso estis nenio, aliaj fiŝoj kaptitaj. La bofrato estis maltrankvila pri tio. Li transmovigis boaton al diversaj lokoj. Fine ni kaptis platesojn ĉe malproksima maro de Himeĝi. Li preparas platesojn en la fiŝa kuvo. Ni revenis kune ĝojo kaj donacoj.



近況と友人のこと

El mia ĉiutaga vivo kaj pri miaj amikoj

みねよしたか

☆ 私の **kuracado** は、18号の「近況報告」に書いたことから進展もまた、さいわいにも後退もなく、現状維持が続いています。mia kuracisto からは、いまのところ根治は難しいので **kancero** と共存共生するように、そのお手伝いをしましょう、というようなことを告げられています。

☆ **kontraŭkancera medikamento** の投与から日数が経てば、激減した白血球＝免疫力も回復するので、出かけることも可能になります。そこで、10月28日の姫路の国際交流フェスティバルは、ギリギリのところですが、顔を出せるかなと思っていました。ところが、その前々日からノドが痛くなり、用心をして、結局断念しました。しかし、当日は、青木日登志（ヒトシ）さんと藤井富朗（トミオ）さんが来られたと、塚本さんからお聞きし、残念に思いました。お二人とも、ふだんの例会には参加されないなので、私もしばらくお会いしていません。また、ご存知でない方も増えているので、この機会に、紹介させていただきます。

☆ 青木さんは、前身の姫路エスペラント会の初めのころの講習会を受講し、外国の **esperantistino** と文通をしていました。そして、2004年に会の活動を再開した時に、再入会していただきました。そのころ、姫路の山電亀山駅の近くにある、おおもとはりま本苑で勉強会がありましたが、それにも参加されました。その時、青木さんからは、インターフェロンで **kancero** の治療を受けているが、そ

れが効いている、とお聞きしました。青木さんとは、フェスティバルのあと、電話で近況をお聞きしました。以前の治療がまだ続いているとのことですが、病気に打ち勝って、民生委員として地域のための活動で多忙な毎日だそうです。また、taglibro はエスペラントで書いているとのことでした。

☆ 藤井さんとは、もっぱらメールでの情報交換です。藤井さんは、姫路エスペラント会が発足したころ、姫路工大のエスペラント研究会のメンバーでした。1968年、第16回の関西エスペラント大会が姫路工大を会場に、開催された時に、たいへんお世話になりました。その後、金沢大学大学院に進み、さらに神戸高専の教授（現在は工学博士で *honora profesoro*）になってからも、そして姫路エスペラント会が開店休業であった時期も、一貫してずっと姫路エスペラント会の *membro* です。現在は、神戸エスペラント会にも所属して、同会の会報 *Senlimo* の編集を担当されています。2008年と10年、播磨町にある多田竜二さんの *Lab-Espo* で開催したザメンホフ祭に出席されたことがあるので、ご記憶の方もいると思います。

(2012 novembro 1)

Vojaĝo en havajo

BABA Tokie

Mi kaj mia edzo vojaĝis en Oahuo de la oka ĝis la dekdua de oktobro.

Ĉi tiu vojaĝo estis donaco de gefiloj por ni. Ni geedzoj unue konstemiĝis pro la granda donaco .Kaj poste ni fariĝis tre feliĉaj. Ili projektis la vojaĝon de kelkaj jaroj kaj ŝparis monon por ĝi. Sed ni tute rimarkis la projekton. La 10-a okutobro estis nia 43-a datreveno de nia geedziĝo. La vojaĝo estis tre admirinda ,tre feliĉiga kaj ne forgesbla.

後は日本語で。

ワイキキ浜辺の前のハイヤット ホテルに滞在しました。28階の部屋の窓から海辺がよく見えます。写真が趣味の夫は、シャッターを押しまくり、結局900枚も撮ったようです。内700枚をDVDに編集し、更にお気に入りの12枚で来年度のカレンダーを作ったり、色々楽しんでいきます。

高層ホテルに隠れワイキキの浜から朝日は拝めず夕日しか見る事ができませ

ん。日の出を見るため朝6時半ごろ散歩に出掛けました。浜と反対の北側方向に行けば恐らくダイヤモンドヘッドの頭越しに日の出を拝めると想像したのです。

ホテル北側のウルニウ通りをしばらく歩くと大きな川に沿った道路に出ました。4車線の車道と大きな木々が連なった並木道、ところどころにベンチが設置されており、快適な散歩道を構成しています。犬を連れて散歩する人、ジョギングする人達、川には20センチほどの黒い魚が群れを成して泳いでいました。川の向こうの広々としたゴルフ場はるか向こうから太陽が上がりました。ダイヤモンドヘッドの頭上ではなかったもののお目当ての日の出を見ることが出来ました。

ワイキキの町はごみ一つ落ちておらず清潔そのものです。朝早くから、専門の人達によって掃除や草刈りがなされていました。また、洗濯物も屋外ではなく各家庭の中庭やガレージの中に干されているようです。

信号機システムに感心しました。青信号から赤信号に変わる20秒ぐらい前から、19,18、とカウントダウンしていくことです。これは便利だと思いました。不思議だったのは、カラスを見ることなく、沢山花が咲いているにもかかわらず蝶蝶を見かけなかったことです。

サンセットクルージング、マジックショウ、フラダンス、夜景観光、とアッと言う間の一週間でした。今でも目をつぶると、ワイキキの海で浮き袋にしがみつ、波に漂っていた、至福の時を思い出します。

一つ残念だった事は、やはりエスペラント語を活用できなかったことです。もっと勉強してエス語だけで会話が出来てハワイのエスペランチストの方を訪ねることが出来たら素晴らしいだろうと、思わずにはられません。



第17回ひめじ国際交流フェスティバルに出展

La 28-an de Oktobro la festivalo okazigis kiel antaŭaj jaroj. Spite al la pluvo multaj homoj vizitis ĝin. La membroj de la societo kunlaboris pretigi la prezentadon kaj prezenti en la festivalo.

10月28日、当フェスティバルは例年通り姫路市大手前公園で開催された。

当日は、はりまエスペラント会の馬場、多田、中川、大前、中村、塚本、山岸、三鍋各氏が折り紙の花とメッセージカードの配布や、エスペラントの説明を行った。

前日までは晴れていたが、当日は朝から昼過ぎまで雨が降っていた。展示物はテント内に配置したが、机の上にチラシなどを置いたので雨の降り具合にあわせて机ごと移動したりした。このような悪天候にもかかわらず、用意した折り紙の花120個は午前中でほぼ配布完了した。配布したメッセージカードや「花とゆめ」に掲載されたコミック「僕らは楽園で結ばれる」の例文を使ってエスペラントの説明を行い、学習に興味のありそうな8名には名前（内4名は住所も）書いてもらった。後ほど連絡をとって学習を勧めたい。エスペラント関係者としては神戸の藤井氏、広畑の青木氏が見えた。午後になってようやく雨がおさまる頃には展示終了時刻近かった。事前に展示・配布物の準備に協力して頂いたり、当日に手伝って頂いた会員の方々に感謝します。 (塚本 猛)



Novaj membroj(S-ino Minabe kaj S-ino Nakahaŝi)

Ni, Harimma Esperanto Societo tre ĝojas, ke ni havas novajn membrojn. Ili lernas Esperanton diligente, kaj jam kunlaboras por okazaĵoj. Ni deziras, ke ni kunlaboru pli diligente por la afero.

神戸・はりま合同エスペラント祭（ザメンホフ祭）のお知らせ

日時：平成24年12月15日（土）13:00～17:00

会場：明石市立文化博物館大会議室（2F）

会費：500円

内容：UK参加報告，朗読，合唱，単語当てクイズ，本の紹介など

La 15-an de Decembro ni havos Zamenhofan Festivalon en ĉi tiu jaro. Ni esperas, ke multaj membroj ĉeestu la festivalon kaj distru sin en ĝi. La ejo estas facile alirebla de la stacio Akaŝi. Tie vi ankaŭ povas ricevi menditajn librojn kaj/aŭ aĉeti rekomenditajn librojn.

今回は、はりまエスペラント会で会場の準備を行います。会場は広め（定員100名）ですので、できるだけ多くの会員の参加をお願いします。会場は明石駅から5分、明石城に隣接する高台にあります。駅からは歩きですが、道路脇のエレベータで会場の近くに上がれますので負担は少ないと思います。隣にはレストラン・ゴヤがあり店内から明石大橋も見渡せます。早めに行ってザメンホフ祭前に昼食をとるのも良いでしょう。

会場では移動式のホワイトボードとプロジェクターを使用できます。UK参加報告で使用すると思いますが、他にも何か考えてみてはいかがでしょうか。また、本の販売を神戸エスペラント会に依頼していますので、欲しい本があれば注文しておき会場で受け取ることもできます。（塚本 猛）

学習例会の記録

Kie, kiam, kiuj kune lernis?

＜姫路：国際交流センター＞

8月23日：大前，久保田，塚本，中村，中橋

9月27日：塚本，中村，中川，馬場，山岸，峰，三鍋，中橋

10月25日：大前，塚本，中村，中川，馬場，山岸，中橋

学習例会は午後1時30分～4時。

テキストはエクスプレス エスペラント語。

<加古川：加古川総合文化センター>

8月19日：久保田，坂本，多田，塚本，南場，峰

9月16日：坂本，多田，塚本

10月21日：多田，塚本，南場，馬場

テキストは *Vojaço kun Katrina*。LM の作文教室も参照。

今後の例会予定 (2012年11月～2013年1月)

Kie, kiam ni kunvenos?

★姫路 (午後1時30分～4時，姫路国際交流センター)

11月22日 (第4木曜日) 第5，6会議室

12月27日 (第4木曜日) 第4会議室

1月24日 (第4木曜日) 未定

エクスプレス エスペラント語を使っています。

★加古川 (午後2時～4時，加古川総合文化センター)

11月18日 (第3日曜日) 会議室3

12月xx日 ザメンホフ祭 (12月15日) のため休会

1月20日 (第3日曜日) 未定

引き続き，“*Vojaço kun Katrina*” を読んでいます。

読み終わったら “*Katrina malfruas*”，シリーズ第3話を読み進める予定です。

編集後記

春、笑った山は、今、すっかり粧っています。その粧いは次第に平地に下りてきています。先日の雨できれいに洗われ、ひときわ鮮やかに色づいています。民家の庭先には“皇帝ダリア”が見事に背を伸ばし咲いていました。

1か月遅れの“*Verda Placo N-ro 19*”をお届けします。N-ro 20は1月中旬に発行します。さらに多くの原稿をお寄せください。

★★

Verda Placo” (みどりのひろば) n-ro 19 2012年11月17日

発行：はりまエスペラント会 代表 峰 芳隆 高砂市北浜北脇29-16

編集：南場敏郎 加古川市平岡町城の宮13A-102 qqce7bm9k@pony.ocn.ne.jp

エスペラント



Verda Placo

2013 vintro

みどりのひろば

2013年 冬

N-ro 20

Gojon kaj feliĉon por la serpenta jaro!



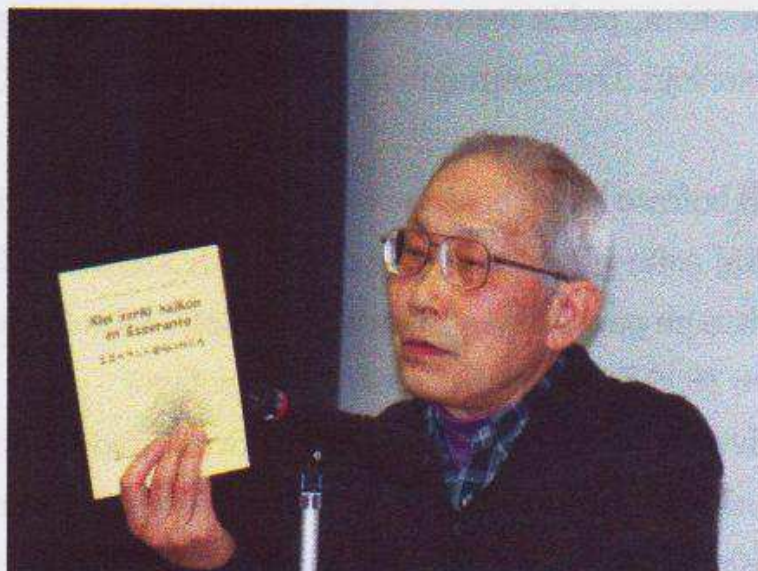
Paro de serpentoj ligne farita de Tada Rjuji

神戸・はりま合同エスペラント祭（ザメンホフ祭）

2012年度のザメンホフ祭は12月15日、明石市立文化博物館大会議室で開催された。幸い、ザメンホフ祭の開始前には前日からの雨も上がっていた。参加者は19人だったが、はりまエスペラント会で準備したこの会場は100名までの収容が可能であり、後部に本の売り場を設定しても十分な広さがあった。参加者の内訳は神戸エス会10人、奈良エス会1人、西宮エス会1人、はりまエス会6人、その他1人である。La Espero 斉唱で始まり、出席者の自己紹介、はりまエス会中村さんのウクレレ演奏、神戸エス会磯貝さんのUK参加報告と続いた。本の紹介では、はりまエス会の峰さんから、出版した本や未出版の本の裏話などもあった。はりまエス会の馬場さんは朗読、単語当てクイズを出題した。塚本は造語法とスペルチェックプログラムについての講話を行い、また、はりまエス会の坂本さん、久保田さんの単語当てクイズを代読した。La Tagiĝo 斉唱でザメンホフ祭を終えた後、有志16人が参加して会場の隣のレストランで食事会を行った。神戸エス会主催の場合は例年、忘年会を行っているとのことであったが、会場から飲食街までの距離や予算を勘案した結果、早めの食事会になった。一つだけ残念なのは、食事会中に雨が降り出してしまい、近いとはいえ駅まで雨に濡れて歩いたことである。

(塚本 猛)





S-ro Mine rakontas pri la novaj libroj.

Boato (2)

TADA Rjuĵi

Alian epizodon

Mi kunveturis per fiŝado de kongro(marangilo). Mi asistis antaŭ nokte tion, kion ni faris preparitan kaptilon kaj allogaĵojn. La kaptilo estis du mil. (Haenaŭa) Ĝi fluigis dekoblajn amasojn de du cent kaptilo.Kaj tamen ni drinkis ŝoĉuon kun enverŝita biero dum laboro. Ni komencis la kaptilojn kun allogaĵojn de la vespero. Post sunsubiro, ni atendis du aŭ tri horojn.Kaptitaj kongroj eniris la fiŝa kuvo. Sekvantan matenon ni iris kolekti tiojn. Kaptitaj kongroj estis ducent dudek. La bofrato kaj mia edzino distranĉitajn kongrojn. Mi rostis distranĉistajn kongrojn per rostokradilo de karda fajro. Kaj enpakis per kelkajn aĵojn. Ni disdonis al la parencoj, amikoj kaj intimaj proksimuloj.

Alian epizodon

Ni iris kapti algojn(Ŭakame) kun la amiko de kompanio.Li loĝas en Tamba-sasajama. Ni uzis feran rastilon kun 1.5m longa.(kumade) Ni elakvigis pendigitajn alogojn kun ĝi de marfundo. Li estis forta per agrikulturado ĉiam. Baldaŭ boato fariĝis plena de algoj. Sekvanta tago ni boligis akvon en granda kaldrono per bruligno. Ni boligis algojn. La algoj ŝanĝis koloron belege verda. Kaj

ni surŝutis plenan salon, pakis retan sakon kun ĉiu ĉirkaŭ 1Kg, amasigiskelkaj sakojn, surmetis pezilojn. Dum semajno la akvo estis malmulte. Ĝi estas oportuna ĉiam.

En printempo 1993 bofrato havis boaton veturis plej rapide en Hutami-haveno. Tio estis nova boato kaj estis pli granda ol malnova. Mi kaj mia edzino ĉeestis tiam enhaveno. La bofrato ne povas la novan boaton malpli ol unu jaro. Li malsaniĝis. La 18an de oktobro 1995 li mortis pro kancero de ezofago.

En 2007 la loĝo de ŝipo ŝanĝiĝis. Mi relernis en nova kurso de ŝipo. Ankaŭ mi ricevis ekzamenoj. La ekzamenoj estis navigacio, markarto kaj vetero. Mi estis malforte en markarto. La 17an de aŭgusto 2004 mi akiris unuan grandan licenco de boato. Malpli ol dudek tunoj, mi povas veturi ĉien sur la terglobo. Sed mi devis mem defendi mian vivon.



Rememoro pri neĝo

BABA Tokie

Tio okazis antaŭ 5,6 jaroj. Mi volis neĝon. Mi opiniis, se mi uzos juneco-bileton kaj veturos al Oumiimazu de Koseisen per nova ekspresa vagonaro, mi povas veturi malkare, rapide kaj facile.

La 30-an de decembro, mi kaj mia edzo iris al Oumiimazu. Kiam vagonaro eniris en Koseisen, iom post iom neĝa pejzaĝo aperis.

Vagon-fenestre

Koro dancas de ĝojoj

Neĝa pejzaĝo

Oumiimazu estas malnoba tranokta urbo. En tiu tempo ĝis estis tute kovrita de neĝo kaj senbrua. Ni paŝis sur senhoma vojo al Biwako estis bele balanka. Ni ripozis tie.

私のザメンホフ祭奮戦記

馬場祝栄

ザメンホフ祭の自己紹介で、いつもは *nomo kaj loĝloko* しかエスペラントで話せないで、今度はちょっと頑張ってみようと思い、取り敢えずE文を作成しました。それを毎日暗誦しました。しかし私はこんなに馬鹿だったのかと思うくらいどこかで詰まります。それでも、簡単な文章ですし毎日練習したので覚えたつもりになっていました。

さて、本番になり皆さんの日本語ありエスペラントありの自己紹介を聞き楽しんでるうちにすっかり忘れてしまい、しどろもどろになってしまいました。後に、自作で *vintro* の季語の入った俳句を5句詠みましたがお恥ずかしい限りでした。

Mia nomo estas Tokie Baba. Mi loĝas en Urbo Kakogawa. Mia laboro estas nelaboro. Mia hobio estas bildigo kaj lerni esperanton. Mi komenciĝis fari hajkon por lerni esperanton. Kaj mi konciĝis fari japana hajkon por fari esperanta hajkon. Sed ambaŭ mi ne fari lerte. Ĝi estas mia ĉglena semoj.

今回、はじめて *bankedo* にも参加しました。女性は4人でした。塚本夫人（奥様にはいつもこういう時はお世話になっています。）神戸の藤田さん、山本さんと私です。山本さんは私が通信講座を受けてた頃、同じように受けていて、お便りコーナーで私の名前を記憶していたらしいです。びっくりしました。まあ、私の名前は祝栄と書くので覚えやすいのでしょうか。今は宝塚にお住まいとのことでした。

藤田さんお話には驚きの連続でした。なにしろエスペラントを勉強し始めた2年目に、もう世界エスペラント大会に参加したらしいのです。それも団体行動は嫌いなので友達と二人で行ったらしいのです。その外国旅行の面白さ、可笑しさ、楽しさ、困ったことなどを話してくれました。辞書片手に、わからないことは相手の人に単語を引いてもらったとのこと。私にはとてもまねできません。また、いろいろと話を聞かせてほしいと思いました。

そして、何にでも積極的に参加することは、勉強になり良いことだと思いました。

わたしとエスペラントの出会いはいは3度あった。

多田 龍二

最初は小学4年頃、父の書庫に日本文学全集があり、二葉亭四迷を読んだ時でした。二度目は大学の入学式に、クラブ勧誘があり思い出しました。クラブは4年生だけでわたしが引き継ぐことになりました。先生のご指導もあり、卒業論文をエスペラント語で提出しました。

“*Studoj pri ŝanĝo oligosakaridoj ekstraktataj el sengrasigita sojo per la bakterio Escherrichia coli*”

“脱脂大豆から抽出した多糖類の大腸菌による変化の研究” 香川大学生物化学研究室
1966年1月21日受理。

3度目は会社を定年退職後、現在のはりまエスペラント会に入り40年間のブランクを埋めるべく学習にがんばっています。何よりも人と会い、話すことが好きです。

私はエスペラントが好きです。

多田龍二 (ただりゅうじ) 兵庫県明石市在住

無職、趣味: Mem faru!

(La Revuo Orienta ” 2012年10月号「はじめまして」からの転載)

はりまエスペラント会の会計報告 (2012年)

2012年1月～12月

項目	収入	支出	残高	備考
会費	110,000			
例会参加費	17,500			姫路, 加古川
Z祭剰余金	1,663			
寄付	600			曲田さん
KLEG 会費		66,500		
会場費		14,310		姫路, 加古川
Verda Placo		8,000		4号(プリント代)
事務用品		2,117		封筒, 宛名ラベル ktp
通信費		18,400		LM, VP 発送 ktp
広報活動費		6,854		展示 ktp
計	129,763	116,181	13,582	
前年の繰越	68,383			
翌年へ繰越			81,965	

会費：4,400円×25 (のべ人数)

例会参加費：例会参加者の会場費負担

Z祭剰余金：神戸との合同ザメンホフ祭の剰余金分配

Verda Placo：毎号50部プリント。会員に配布の他、KLEG加盟グループに、KLEG事務所由で配布。また、日本エスペラント協会 (JEI) と岡山エスペラント会も。

同会会長の原田英樹さんは、姫路医師会に勤務 (岡山から通勤)。

KLEG 連盟費：月額250円/人 (21人×5カ月, 23人×7カ月)

広報活動費：姫路国際交流フェスティバル (10月) 出展料 (6000円) 他
(報告：塚本さん管理分と合わせて、峰が集計作成)

学習例会の記録

Kie, kiam, kiuj kune lemis?

<姫路：国際交流センター>

11月22日：塚本，中村，中川，馬場，山岸，峰，三鍋，中橋

12月27日は休会

学習例会は午後1時30分～4時。テキストはエクスプレス エスペラント語。

<加古川：加古川総合文化センター>

11月18日：坂本，多田，塚本，南場，馬場

12月はザメンホフ祭のため休会

テキストは *Vojaĝo kun Katrina*。LMの作文教室も参照。

今後の例会予定 (2013年2月～2013年3月)

Kie, kiam ni kunvenos?

★姫路 (午後1時30分～4時, 姫路国際交流センター)

2月28日(第4木曜日) 第4会議室

3月28日(第4木曜日) 未定

エクスプレス エスペラント語を使っています。

★加古川 (午後2時～4時, 加古川総合文化センター)

2月17日(第3日曜日) 未定 サ-クル室

3月17日(第3日曜日) 未定

引き続き, "*Vojaĝo kun Katrina*" を読んでいます。読み終わったら "*Katrina malfruas*", シリーズ第3話を読み進める予定です。

編集後記：ネオ戦前の様相がますます強くなっている昨今、年末に曲田さんから『エスペラント学事始』(復刻版)を借り、読みました。著者のIU(伊井迂)こと伊藤三郎さんに急流を遡行する魚の美しさを感じました。

お陰様で *Verda Placo* を復刊して5年、N-ro 20 を発行することができました。みなさんの協力に感謝、感謝。次号の原稿もよろしく!!

★★

“Verda Placo” (みどりのひろば) n-ro 20

2013年1月20日

発行：はりまエスペラント会 代表 峰 芳隆

高砂市北浜北脇29-16

編集：南場 敏郎 加古川市平岡町城の宮13A-102

qqce7bm9k@pony.ocn.ne.jp